官報號外

昭和十四年三月十九日

○第七十四回帝國議會衆議院議事速記錄第二十七號

昭和十四年三月十八日（土曜日）
午後二時十六分開議

議事日程　第二十六號
昭和十四年三月十八日
午後一時開議
第一　昭和十四年法律第二號中改正法律案（昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會
第二　映畫法案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス）

一議員ノ異動左ノ如シ
北海道第五區選出議員遠山房吉君死去セラレタリ

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
昭和十四年法律第二號中改正法律案（昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件）
（以上三月十七日提出）

一昨十七日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
（第一號）　昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案
（特第一號）　昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
（追第二號）　豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件
鑛業法中改正法律案
青年學校教育費國庫補助法案

一去十六日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ
第九部選出豫算委員　渡邊　泰邦君

一去十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
昭和十二年度第一豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）外五件委員
鈴木憲太郎君　仲井間宗一君
小山邦太郎君　木原　七郎君
岡野　龍一君　池田　清秋君
成島　勇君　福井　甚三君
宮本雄一郎君　大内竹之助君
小笠原八十美君　榮藏君
木村作次郎君　井上　知治君
井阪　豐光君　朴　春琴君
菊地養之輔君　三木　武夫君
青年禁酒法案（高橋壽太郎君外十三名提出）委員
手代木隆吉君
長野　高一君　泉　國三郎君
仲西　三良君　山川顯三郎君
淺井　茂猪君　中野　寅吉君
河合　義一君

一去十六日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
昭和十三年法律第六十四號中改正法律案（兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル件）（政府提出）外一件委員
辭任田万　清臣君　補闕野溥　勝君
輕金屬製造事業法案（政府提出）委員
辭任加藤　鎌造君　補闕中村　高一君
辭任宇賀　四郎君　補闕渡邊玉三郎君
職員健康保險法案（政府提出）委員
辭任米窪　滿亮君　補闕塚本　重藏君
昭和十二年法律第五十七號中改正法律案（鐵ノ輸入稅免除ニ關スル件）（政府提出）外一件委員
辭任川副　隆君　補闕山田　順策君
民族優生保護法案（八木逸郎君外一名提出）委員
辭任斯波　貞吉君　補闕清　寛君
宗教團體法案（政府提出、貴族院送付）委員
辭任末松偕一郎君　補闕村瀨　武男君
人事調停法案（政府提出）委員
辭任則元卯太郎君　補闕高橋　義次君
國際電氣通信株式會社法中改正法律案（政府提出）委員
辭任南雲　正朔君　補闕小林房之助君

一昨十七日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ
第九部選出
豫算委員　木村　武雄君（渡邊泰邦君補闕）

一昨十七日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ
第九部選出
豫算委員　原　惣兵衞君

一昨十七日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
昭和十二年度第一豫備金支出ノ件（承諾ヲ求ムル件）外五件委員
委員長　福井　甚三君
理事
鈴木憲太郎君　仲井間宗一君
宮本雄一郎君　大内竹之助君
青年禁酒法案（高橋壽太郎君外十三名提出）委員
委員長　手代木隆吉君
理事
伊藤東一郎君　泉　國三郎君

一昨十七日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
北海道土功組合法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）委員
死去遠山　房吉君　補闕大島　寅吉君

○議長（小山松壽君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君、議員遠山房吉君ハ昨十七日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、此ノ際木下成太郎君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——木下成太郎君

（木下成太郎君登壇）

○木下成太郎君　只今議長ヨリ御報告ニ相成リマシタ故遠山房吉君ニ對シマシテ、院議ヲ以テ弔詞ヲ贈呈シ、其ノ弔詞ハ之ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致スノデアリマス、此ノ際諸君ノ御同意ヲ得マシテ、議員一同ヲ代表シ、茲ニ哀悼ノ意ヲ披瀝致シタイト存ジマス

故遠山君ハ明治二年長野縣諏訪郡中洲村ニ生レラレタノデアリマスガ、志ヲ立テテ明治三十三年北海道ニ移住ヲ致シ、農業ト牧畜ニ從事セラレタノデアリマス、壯年ノ頃ヨリ同君ハ其ノ地方ニ於ケル公共事業ノ中心幹部トナツテ常ニ勤メラレ、又極メテ友誼ニ厚イ人デアルト云フコトヲ、私ハ能ク承知致シテ居ルノデアリマス、明治四十三年以來道會議員ニ當選セラレルコト四回、次デ一昨年即チ昭和十二年ノ第二十回衆議院議員總選擧ニ際シマシテハ、多年公共上ニ盡力セラレシ功勞ニ酬ヒル爲ト、併セテ其ノ晩年ヲ飾ラシメント欲シマシテ、十勝國ニ於ケル政民兩黨ノ幹部ノ諸君ガ申

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

合セラシテ、ドウカ當選サシタイト云フノデ、兩方トモ候補者ヲ立テズニ、遠山君ヲ北海道ノ第五區ヨリ選バシメテ、本院ノ議員トナラレタノデアリマス、又君ハ農會ノ役員トシテ、消防組頭トシテ、或ハ土地水面評價委員トシテ、其ノ他幾多ノ公職ニ從事セラレマシテ、地方公共事業ノ爲ニ、又地方團體ノ爲ニ、多大ノ貢獻ヲ效サレ、殊ニ多年ニ亙リマシテ農事ノ改良及ビ其ノ實行ニ力ヲ效サレマシテ、其ノ功績蓋シ顯著ナルモノガアリマス、君ハ資性溫厚ニシテ且ツ篤實、而モ刻苦精勵ノ士デアリマシテ、稀ニ見ル所ノ立志傳中ノ人材デアリマシタ、然ルニ今俄ニ君ノ訃音ニ接シ洵ニ痛惜ノ情ニ堪ヘマセス、茲ニ衷心ヨリ謹ンデ哀悼ノ意ヲ表スル次第デアリマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　木下君提出ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ハ可決セラレマシタ——茲ニ議長ノ手許ニ於テ起草シタル弔詞ヲ朗讀致シマス

衆議院ハ議員遠山房吉君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

此ノ弔詞ノ贈呈方ハ議長ニ於テ取計ヒマス

〔拍手起ル〕

○服部崎市君　議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此ノ際日程第二ヲ繰上ゲ、尙ホ同一委員ニ付託セラレタル政府提出、著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案ト共ニ一括上程シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——日程第二、映畫法案、著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長星島二郎君

第二　映畫法案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一映畫法案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十七日

委員長　星島二郎

衆議院議長小山松壽殿

附帶決議

一　政府ハ映畫ノ敎育、宣傳、娛樂、報道、產業等ニ及ボス重要性ニ鑑ミ速ニ積極的映畫國策ヲ樹立スベシ

二　政府ハ速ニ映畫ニ關スル行政機構ヲ統合刷新シテ其ノ强化ヲ圖ルト共ニ國立映畫研究機關ヲ設置スベシ

三　政府ハ輸出入映畫ニ付關係各省ノ間ニ緊密ナル聯絡ヲ圖リ適切ナル一元的檢閱ヲ爲スベシ

四　政府ハ映畫ノ輸出奬勵ノ方策ヲ講ズルト共ニ輸入映畫ニ付關係各省ニ於テ統一アル方策ヲ講ズベシ

五　政府ハ本法ノ施行ニ當リ登錄ニ關シ遺憾ナキヲ期シ十四歲未滿ノ者ノ觀覽制限ニ付テハ社會ノ實情ニ反セザルヤウ適當ニ善處スベシ

六　政府ハ映畫ノ上映禁止其ノ他ニ關シ訴願再檢閱等映畫委員會ノ議ヲ經テ適當ナル方法ヲ考慮スベシ

報告書

一著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長　星島二郎

衆議院議長小山松壽殿

〔星島二郎君登壇〕

○星島二郎君　只今上程致サレマシタ映畫法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シタイト思ヒマス、此ノ法案ノ大要ハ既ニ皆樣御承知ト存ジマスルガ、其ノ目的トスル所ハ、此ノ映畫ノ有ユル國家的重要性ニ鑑ミマシテ、映畫ガ單ニ娛樂ノミデナイ、敎育、文化、宣傳、「ニュース」、記錄、斯ウ云ツタヤウナ重要性ニ鑑ミマシテ、映畫ノ質的向上ト映畫事業ノ健全ナル發達ヲ促シ、我國ノ文化ノ進展ニ資シタイト云フノガ本法案ノ目的トスル所デアリマス、其ノ內容ヲ極ク掻摘ンデ御報告致シマスレバ、第一點ハ映畫ノ製作業及ビ映畫配給業ノ濫立ヲ防止シテ、其ノ內容充實ヲ圖ル爲ニ之ヲ許可制度ニ致シタ點デアリマス、其ノ二ハ映畫製作從業員ノ登錄制度ノ實施デアリマス、其ノ三ハ良イ映畫ノ出現ヲ促ス爲ニ選奬ノ制度ヲ設ケタコトデアリマス、其ノ四ハ敎化宣傳ノ爲ニ所謂文化映畫、或ハ「ニュース」、サウ云フモノノ上映ヲ命ジテ、興行館ニ之ヲ强制的ニサセルコトガ出來ル、斯ウ云フ點、又公益上必要ニ依リマシテハ映畫ノ製作ヤ配給、調整ニ關シマシテ命令ヲ發シ得ル點、又本法施行ニ當リマシテハ可ナリノ命令事項ガ多イノデアリマスルガ、ソレ等ヲ扱フ爲ニ主務大臣ガ映畫委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、之ニ諮問ヲシテ、サウシテ遺憾ナキヲ期シタイ、斯ウ云フ點ガ其ノ內容トナツテ居ルノデアリシテ、委員會ハ數回ニ亙リマシテ熟心ニ審議ヲ重ネマシタ、極ク詳シイ點ハ速記錄ヲ御覽願ヒタイト思フノデアリマスガ、其ノ委員會ニ於ケル極ク重要ナ四五ノ點ヲ御耳ニ入レタイト思フノデアリマス

第一點ハ、本法ハ文化立法カ產業立法カ、當然是ハ內務大臣、文部大臣ノ所管ニ屬シテ居リマシテ、文化立法トシテ現ハレタノデアルケレドモ、極メテ取締本位デアツテ消極的デアル、政府ハモツト此ノ內容ノ重要性ニ鑑ミテ、モツト積極的ニ此ノ映畫ニ關スル立法ヲヤラナケレバナラヌガ、其ノ意思ハナイカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ、當局ハ是ハ問フ人ノ言フ如ク、確ニ或ル程度消極的ニ見エルカモ知レナイケレドモ、先ヅ從來放任サレテ居ツタ此ノ映畫事業ニ對シテ取敢ズ「スタート」ヲ切ル點カラ言ツテ、此ノ程度デ結構デ、今後進ンデ御趣旨ニ副ヒタイト、斯ウ云フ答辯デアリマシタ

第二ニ映畫ニ關スル行政機構ヲモツト擴大强化シナケレバ駄目デヤナイカ、今內務省デ一檢閱官バカリデヤツテ居ルコトデハ、折角此ノ法律ガ出來テモ駄目デハナイカ、獨逸ニ於ケル宣傳省ノ如ク、モツト行政機構ノ上ニ、少クトモ最小限度映畫課ト云フモノ、或ハ映畫局ト云ツタヤウナモノヲ設ケテヤラナケレバ、駄目デヤナイカト云フヤウナ質問ニ對シマシテ、當局ニ於キマシテモ其ノ必要性ヲ認メ、順次研究ノ上サウ云フ風ニアリタイトノ答辯ガアリマシタ

第三ハ檢閱ノ統制デ、是ハ御承知ノ如ク或ハ大藏省ノ稅關デヤツテ居ル、內務省ハ上映ニ對シテ檢閱スル、或ハ外務省ガ輸出ニ對シテ口ヲ入レルト云ツタヤウナコトニナツテ非常ニ混雜シテ居ルガ、此ノ檢閱ニ對シテ統制、擴充、サウシテ一元的ニ、殊ニ輸出映畫ニ對シマシテハ洵ニ殘念ナモノガ外國ニ出テ居ル、今ハ製作ハ非常ニ澤山サレテ居ルケレドモ、サウ多クノ數量ハ出

テ居ナイケレドモ、其ノ多クノ數量デナイ――僅カナモノサヘモ實ニ日本ノ文化ヲ非常ニ誤解セシムルヤウナモノガ出テ居ルガ、是等ヲモット一元的ニ檢閱シテ、萬遺憾ナキヲ期シテハ如何ト云フコトニ對シマシテ、政府ニ於キマシテハ其ノ趣旨ヲ十分諒トセラレ、一元的ニハ或ハ外務省カラ兼任ノ檢閱官ガ內務省ニ來テヤルヤウニサレルカ、或ハ內務省ノ人ガ兼任デ稅關ニ行ツテ檢閱スルトカ、何カノ方法ヲ以テ之ヲ一元的ニヤリタイモノダトノ御答辯ガアリマシタ、又政府ハ是程力瘤ヲ入レテ居ルナラバ、音樂學校ガアリ、美術學校ガアルナラバ、是程大衆的ニモ國家的ニモ影響アル映畫ニ關シテ、文部當局ハ少クトモ映畫ニ關スル研究機關ヲ設ケル必要ハナイカ、斯ウ云フ御質問ガアリマシタガ、之ニ關シマシテ將來篤ト考慮シ、其ノ實現ヲ期シタイトノ御答辯ガアリマシタ

次ニ從業者ノ登錄制度デアリマスルガ、是ハ登錄ノミニ依ツテ素質ノ向上ヲ圖ルコトハ出來ナイノデアルケレドモ、併シ之ニ依ツテ素質ノ向上ヲ圖リタイ、ケレドモ角程大衆的ニモ國家的ニモ影響アル映畫ニ關シテ、文部當局ハ少クトモ映畫ニ關スル研究機關ヲ設ケル必要ハナイカ、斯ウ云フ御質問ガアリマシタガ、之ニ關シマシテ將來篤ト考慮シ、其ノ實現ヲ期シタイトノ御答辯ガアリマシタ

次ニ從業者ノ登錄制度デアリマスルガ、是ハ登錄ノミニ依ツテ素質ノ向上ヲ圖ルコトハ出來ナイノデアルケレドモ、併シ之ニ依ツテ素質ノ向上ヲ圖リタイ、ケレドモ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スヤウナコトガアツテハイケナイト云フ見地カラ、得テシテ斯ウ云フ業ニ關スル人ニハ、非常ニ自由ナ氣持ガ必要デアル、此ノ登錄ガ甲ノ會社ノ誰某、甲ノ會社ノ俳優、甲ノ會社ノ「カメラマン」ト、斯ウ云フ風ニ登錄サレテ、若シ此ノ甲ノ會社ガ承諾ヲセナカツタナラバ、乙ノ會社ニ行クコトガ出來ナイト云フコトガアツテハ非常ナ不自由デアルガ、サウ云フヤウナ意味ノ登錄デハナイカト言ウタラ、斷然サウデハナイ、ソレ等ノ自由ハ十分尊重スル、殊ニ「ニュース・カメラマン」ノ如キハ、一面カラ言ヘバ製作者デアリ、監督者デアリ、製造者デアル、殊ニ新聞記者トシテ戰地ニ行ツテ居ル、斯ウ云フ人ヲ一「カメラマン」ト云フ技術ニ限定スルト云フコトハ、遺憾デハナイカト云フコトニ對シマシテ、サウ云フコトハ全然ナイ、登錄上ニ付キマシテハ萬遺憾ナキヲ期スルト云フ御答辯デアリマシタ

ソレカラ此ノ映畫法ニアリマスル如ク、十四歲未滿ノ者ノ入場ノ禁止デアリマス、是ハ現在ノ日本ノ社會ノ實情カラ鑑ミマスレバ、非常ニ問題ガ多イノデアリマスルガ、法律ニハ十四歲ト出テ居リマセヌケレドモ、制限ヲ爲スコトガ出來ルノデアリマスガ、其ノ制限ニ付テハ大體十四歲未滿ト云フヤウナ政府ノ御意向ガアルノデアリマスルガ、何レ是ハ映畫委員會ノ議ヲ經テ決セラレルコトト思ヒマスルケレドモ、一面母親ノ入場ヲ禁止スル結果ニモナルノデアリマスルカラ、保護者ガ附イテ行ケバ宜イデハナイカト言ツタヤウナコトニ關シマシテ、政府ハ十分社會ノ實情ヲ鑑ミテ善處シタイトノ御答辯デアリマシタ

ソレカラ外國映畫ノ輸入制限ニ付テ、是ハ今回ノ法律デ或ル程度マデ制限サレルコトニナツテ居ルノデアルガ、日本映畫ニ刺戟ヲ與ヘ、日本映畫ノ發達ヲ圖ル爲ニモ必要デアルシ、又外國ノ良キ映畫ハ日本ノ文化ヲ發達サス參考ニナリ、或ハ外國ノ事情ヲ知ル一ツノ大キナ機關トモナルノデアルカラ、之ニ極端ナル制限ヲ加ヘル必要ハナイデハナイカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ外國映畫ノ國民的ノ道義ニ及ボス影響ト、國內ノ映畫產業ノ保護ノ立場カラ適當ナル制限ヲスルノデアツテ、決シテ極端ナル制限ヲスル積リハナイ、是等ハ映畫委員會ニ諮問シテ適當ニ決メルモノデアルトノ御答辯ガアリマシタ

ソレカラ日本映畫ノ輸出振興及ビ大陸進出ニ付テ促進スル必要ガナイカトノ問ニ對シマシテ、政府ハ出來ルダケ之ニ對シテ努力ヲシタイトノ御答辯ガアリマシタ、尙ホ映畫委員會ノ構成ニ付テハ、得テシテ官僚化トナル虞ガアル、斯ノ如キ文化立法ニ對シマシテ、此ノ委員會ニハ廣ク民間ノ衆智ヲ集メテ萬全ヲ期セラレタイトノ希望的質問ニ對シマシテハ、政府ハ十分ソレ等ノコトヲ考慮スルト、尙ホ其ノ構成ノ方法、人數等モ委員會デハ例示サレマシタガ、是ハ煩ヲ省キマシテ速記錄デ御覽ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、大體ソレ等ノ質疑應答ガアリ、其ノ外映畫製作ニ關シマシテ深夜業ニ關スル問題、其ノ他ニ付キマシテ適切ナル御質問ガアリ、又ソレニ對シテ鄭重ナル政府ノ御答辯ガアリマシタガ、ソレ等ハ速記錄ニ讓リマス

而シテ昨日質問ヲ打切リマシテ直チニ討論ニ入リマシタ、民政黨ヲ代表シテ福田君、政友會ノ岩瀨君、第一議員俱樂部ヨリ赤松君、社大ノ田原君、第二控室ノ三木君等ヨリ、ソレ〴〵原案ニ對スル贊成ノ意見ガアリマシタ、但シ其ノ以前ニ各派委員協議致シマシテ、各派ノ諒解ノ上ニ一致シタル附帶決議ヲ附シテ、之ヲ承認スルコトニ決シタノデアリマス、今其ノ附帶決議ヲ茲ニ朗讀致シマス

附帶決議

一　政府ハ映畫ノ敎育、宣傳、娛樂、報道、產業等ニ及ボス重要性ニ鑑ミ速ニ積極的映畫國策ヲ樹立スベシ

二　政府ハ速ニ映畫ニ關スル行政機構ヲ統合刷新シテ其ノ强化ヲ圖ルト共ニ國立映畫研究機關ヲ設置スベシ

三　政府ハ輸出入映畫ニ付關係各省ノ間ニ緊密ナル聯絡ヲ圖リ適切ナル一元的檢閱ヲ爲スベシ

四　政府ハ映畫ノ輸出奬勵ノ方策ヲ講ズルト共ニ輸入映畫ニ付關係各省ニ於テ統一アル方策ヲ講ズベシ

五　政府ハ本法ノ施行ニ當リ登錄ニ關シ遺憾ナキヲ期シ十四歲未滿ノ者ヲ觀覽制限ニ付テハ社會ノ實情ニ反セザルヤウ適當ニ善處スベシ

六　政府ハ映畫ノ上映禁止其ノ他ニ關シ訴願再檢閱等映畫委員會ノ議ヲ經テ適當ナル方法ヲ考慮スベシ

此ノ附帶決議ニ對シマシテハ、從來得テシテ附帶決議ハ唯聞置クト云ツタヤウナ程度デ輕ンゼラレルカラ、强イ意味ニ於キマシテ、此ノ決議ニ對シ、當該大臣ハ本會議ニ於キマシテ、此ノ決議ニ對シマシテ意思表示ヲサレタイトノ希望ガアリマシタ、之ヲ私ヨリ當局ニ御註文申上ゲマス、以上ヲ以チマシテ映畫法ノ御報告ヲ終リタイト思ヒマス

尙ホ本委員會ニ併託サレマシタル著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案ノ委員會ニ於ケル審議ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、此ノ法案ハ著作物ノ利用ニ關スル堅實ナル仲介機關ノ發達ヲ促シ、以テ著作者ノ利益ヲ擁護スルト共ニ、其ノ著作物利用ノ簡易化ヲ圖ル爲ニ、著作權ニ關スル仲介業務ニ付許可制度ヲ設ケ、其ノ業務ノ執行ニ對シテ適正ナル監督ヲ加ヘントスルコトヲ目的トシタノデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、本法案ノ特殊ナル目的ニ鑑ミ、豫メ懇談ノ方法ニ依リマシテ、愼重審議致シマシタ、其ノ內容ガ明瞭トナリマシタノデ、質疑應答ニ付キマシテハ特ニ申上ゲル程ノコトモナク、文化立法ト致シマシテ滿場一致ノ贊成ヲ以テ議決致シタ次第デアリマス、此段兩案ヲ御報告致シマス（拍手）

〔國務大臣侯爵木戸幸一君登壇〕

○國務大臣（侯爵木戸幸一君）　政府ハ只今委員長ノ御述ニナリマシタル附帶決議ノ趣旨ヲ尊重致シマシテ、映畫行政ノ適正ヲ期シタイト存ジテ居リマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君　直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

映畫法案　第二讀會（確定議）

著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案　第二讀會（確定議）

○議長（小山松壽君）　別ニ御發議モアリマセス、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告通リ可決確定致シマシタ（拍手）

○服部崎市君　議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ政府提出、船舶建造融資補給及損失補償法案、海運組合法案、造船事業法案ノ三案ヲ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ――船舶建造融資補給及損失補償法案、海運組合法案、造船事業法案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス――委員長野田文一郎君

船舶建造融資補給及損失補償法案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

海運組合法案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

造船事業法案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

昭和十四年三月十八日

委員長　野田文一郎

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一船舶建造融資補給及損失補償法案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長　野田文一郎

衆議院議長小山松壽殿

附帶決議

一　內外ノ情勢ニ鑑ミ本邦海運伸展ノ根本方策ヲ講スルコトハ現下喫緊ノ要務ナリト認ム依テ政府ハ內地外地ノ海事行政ヲ統一シテ滿支トノ連絡ヲ密接ニシ以テ一元的海運國策ヲ樹立スル爲速ニ適當ノ措置ヲ採ルヘシ

報告書

一海運組合法案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長　野田文一郎

衆議院議長小山松壽殿

附帶決議

一　內外ノ情勢ニ鑑ミ本邦海運伸展ノ根本方策ヲ講スルコトハ現下喫緊ノ要務ナリト認ム依テ政府ハ內地外地ノ海事行政ヲ統一シテ滿支トノ連絡ヲ密接ニシ以テ一元的海運國策ヲ樹立スル爲速ニ適當ノ措置ヲ採ルヘシ

報告書

一造船事業法案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長　野田文一郎

衆議院議長小山松壽殿

附帶決議

一　內外ノ情勢ニ鑑ミ本邦海運伸展ノ根本方策ヲ講スルコトハ現下喫緊ノ要務ナリト認ム依テ政府ハ內地外地ノ海事行政ヲ統一シテ滿支トノ連絡ヲ密接ニシ以テ一元的海運國策ヲ樹立スル爲速ニ適當ノ措置ヲ採ルヘシ

○野田文一郎君　船舶建造融資補給及損失補償法案、造船事業法案、海運組合法案ノ三案ニ付キマシテ、委員會ノ審査ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

船舶建造融資補給及損失補償法案ハ去ル九日委員ヲ指名セラレマシテ、直チニ委員會ヲ開イタノデアリマス、ソレニ依ツテ委員長、理事ノ互選ヲ行ヒ、去ル十一日更ニ造船事業法案、海運組合法案モ同ジ委員ニ付託セラレマシタカラ、三案ヲ一括シテ審査ヲ進メマシタ

船舶建造融資補給及損失補償法案ノ概要ハ、政府ノ提案理由ニ依リマスレバ、我ガ海運界ニ於テ多年要望シ來ツタ造船金融ノ制度ヲ確立シ、業者ヲシテ船舶建造ヲ計畫的ニ實行セシムルト共ニ、併セテ船價ノ低減ヲ期シ、以テ本法海運發展ノ根基ヲ確立セントスルニアルト云フコトデアリマス、其ノ內容ヲ摘ンデ申シマスレバ、償還年限ヲ十五年以內ニ致シマシテ、船舶建造ノ資金ヲ低利ヲ以テ貸付ケルノデアリマス、而シテ場合ニ依リマシテハ、政府ノ認可ヲ受ケル時ニハ、其ノ不足ノ部分ニ付テハ、他ノ擔保ヲ供セシメテ全額ヲ支給スル場合モアルノデアリマス、尙ホ損失補償ニ付キマシテハ、金融機關ノ受ケタ損失ノ百分ノ七ヲ政府ガ補償ヲ致スノデアリマス、而シテ其ノ損害ノ額ハ、船舶融資損失審査會ニ於テ決定ヲスルト云フコトニナツテ居リマス

造船事業法案ハ、造船事業ヲ許可制度ト致シマシテ、政府ガ之ニ關與ヲ致シテ指導監督ヲスルト云フコトガ根本ノ規定デアリマス、而シテ造船事業ノ爲ニハ土地ノ使用又ハ收用、或ハ金融調達ノ便宜ヲ與ヘルト云フコトモアリマス、更ニ又船舶ノ新造ノ奬勵、即チ從來未ダ造ラレタルコトナキ新ナル船ヲ造ル爲ニ奬勵金ヲ交付シテ、造船技術ノ進歩發達ヲ圖ルト云フコトモアリマス、又推進性能ノ試驗ノ爲行ヲ致スト云フヤウナコトモアリマス、尙ホ造船事業者ノ組合ノ制度ヲ認メマシテ、自治的ニ業者ヲシテ互ニ協力セシメ、政府ノ關與ニ依ツテ更ニ之ヲ强化スルト云フヤウナコトガ、先ヅ法案ノ骨子デアリマス

更ニ海運組合法ハ、從來船主協會ト云フヤウナモノデ大體自治的ニヤツテ居リマスガ、今日ノ趨勢カラ申シマスレバソレノミデハ十分デアリマセヌカラ、海運組合及ビ組合聯合會ヲ設立セシメルノデアリマス、實際カラ申セバ、從來ノ船主協會ト云フモノヲ改組スルト云フコトニナルノデアリマス、斯樣ニシテ我國ノ海運政策ニ順應シテ、運賃トカ、或ハ傭船料トカ云フヤウナモノニ付テ、指導監督ヲスル制度ニスルト云フコトデアリマス

以上ノ三案ハ何レモ業者一般ノ要望デアリマシテ、提案ノ趣旨ニハ委員諸君モ最初ヨリ異論ハナイノデアリマス、唯此ノ三ツノ法案ヲ完全ニ活用シテ其ノ效果アラシムル爲ニハ、從來ノ一大弊害ヲ根本的ニ刷新ヲ致サナケレバナラヌ、其ノ弊害トハ何デアルカト申シマスルト、元來今日ノ時代ニ於テ、海運政策ニ付テ內地外地ガ別ニナツテ居ルト云フコトハ、海運事業ノ發達ヲ阻碍スルモノデアル、朝鮮ハ朝鮮總督府、關東州ハ關東局デヤル、內地ハ遞信省ト云フ風

ニ、内地外地ノ間ニ統一ヲ缺クコトガ今日ノ最モ大ナル弊害デアル、此ノ根本ニ向ツテ改善ヲ加フルニアラザレバ、此ノ三案ガ成立シテモ恐クハ十分ニ其ノ機能ヲ發揮スルコトガ出來ヌデアラウ、斯ウ云フコトガ委員ノ共通ノ考ヘ方デアリマシテ、此ノ考ヘ方ニ基イテ政府當局ニ質疑ヲ致サレタノデアリマス、此ノ問題ノ解決ハ遞信省ノミヲ以テ遂行スルコトハ困難デアリマスカラ、之ニ關係ノ各省其ノ他ノ官廳ニ對シテ、其ノ所信ヲ質ストニ云フコトガ最モ必要デアルト云フノデ、海軍大臣、拓務大臣、興亞院總務長官、朝鮮總督府政務總監、對滿事務局次長、是等ノ人ノ出席ヲ求メマシテ、委員諸君ト熱心ニ質疑應答ヲセラレタノデアリマス、國務大臣竝ニ政府委員ノ御答辯ハ、大體ニ於テ質疑者ト其ノ感ヲ同ジウセラレルノデアリマシタ、殊ニ海軍大臣ハ有力ナル商船隊ノアルト云フコトハ、海軍ノ立場トシテハ最モ望マシイノデアル、優秀ナル船舶ガ商船隊ヲ作ツテ、一朝有事ノ際ニ働ヲスルト云フコトハ、海軍ノ年來希望スル所デアル、又日滿支ヲ一體トシタ考ヘ方デ、統一セル海運政策ヲ樹立スルト云フコトモ、海軍ノ最モ望ム所デアルト云フ答辯ガアリマシタ、其ノ他ノ國務大臣、政府委員等ノ答辯モ大體ニ於テ大同小異デアリマシテ、何レモ海事行政ヲ統一スル爲ニ協力スルト云フコトニハ一致ヲ致シタノデアリマス

次ニ重大ナル問題トシテ質問應答ノアリマシタノハ、造船能力ノ問題デアリマス、政府ノ答辯ニ依レバ、昭和十四年ニ於テ補給ヲスル額ハ幾ラデアルカト云ヘバ、初年度ニ於テ九千万圓デアルガ、果シテ政府ノ期待スルダケノ建造ガ可能デアルカ、現在ノ實際カラ申セバ、一年間ニ建造シ得ル能力ヲ標準トシテ、三年ノ間ニ所期ノ船ヲ造ルコトハ出來ナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ質問ニ對シマシテハ、政府ハ今日ノ造船能力ハ、其ノ全能力ヲ發揮スルニ於テハ、殆ド之ニ應ズルダケノモノガアルトノコトデアリマス、唯今日マデ之ヲ十分ニ發揮シ得ザル所以ハ、主トシテ器材ノ配給ニアル、此ノ點ニ付テモ昭和十四年度ニハソレ〴〵ノ關係官廳ト協力ヲシテ、支障ナク供給ヲスル手配ヲ致シテ居ルカラ、豫期ノ造船ヲ爲シ得ルモノデアル、斯ウ云フコトノ答辯デアリマシタ、之ニ關聯致シマシテ器材ノ配給ノ問題ニ付テハ、公開ノ席上ニ於テ答辯ヲスルコトガ出來ナイト云フノデ、祕密會ニ於テ其ノ數量ヲ述ベラレタノデアリマス、併シ祕密會ノ內容ハ玆ニ述ベルコトヲ差控ヘマス

更ニ委員諸君ノ熱心ニ質疑ヲセラレタコトハ船員ノ供給デアリマス、船ハ造ツテモ今日ノ學校ノ狀態カラ云ヘバ、到底其ノ船ヲ動カスダケノ船員ヲ充實スルコトガ出來ヌ、之ニ付テ果シテ確信デアルカト云フコトノ質疑應答ガ屢〻繰返サレタノデアリマス、殊ニ今日ノ船員ハ技術等ニ付テノ教育ハアルガ、船員トシテノ道德的ノ敎養ニ於テ頗ル缺クル所ガアル、斯樣ナ點ニ付テ質疑ガ繰返サレタノデアリマシタガ、政府ハ大體ニ於テ所要ノ人員ヲ充タスコトガ出來ルト信ジテ居ル、船員ノ養成ニ付テハ尙ホ十分ニ研究ヲシテ、萬遺漏ナキヲ期シタイト云フコトノ答辯デアリマシタ、又海運事業ノ特殊性ニ鑑ミテ、海運ニ關スル特別ノ金融機關ヲ設クル意思ナキヤ、斯ウ云フ問モアリマシタ、卽チ海運ノ事業ハ、非常ニ好況ノ時代ガアル半面ニハ大ナル反動モアル、併シナガラ長イ眼ヲ以テ見ルト、其ノ間ノ損失ヲ補償シテ、結局損失ナキヲ期スルコトヲ得ルノデアルガ、若シ金融業者ガ海運ノ事業ニ十分ノ認識理解ヲ持タズシテ、不況ニナレバ直チニ回收ヲ迫ルト云ヤウナコトデハ、折角有望ナル海運業者ガ其ノ爲ニ潰サレテシマフト云ヤウナ危險ハナイカト云フ質問ガアリマシタガ、之ニ對シマシテハ、政府ハ只今ノ所直チニサウ云フコトヲヤル考ハ持ツテ居ラヌトノ答辯デアリマシタ、又今次ノ支那事變ニ鑑ミテモ、中小型ノ船ガ非常ニ重大ナル役割ヲ致シタト云フコトハ顯著ナル事實デアル、今後支那事變ノ進展ニ伴ヒ、戰爭中ハ勿論、其ノ以後ニ於テモ、支那沿岸或ハ長江、是等ノ方面ニ於テ小型ノ船ガ役ニ立ツコトガ非常ニ大キイノデアル、是等ノ小型ノ船ニ對シテハヤハリ大型船ト同樣ノ援助ヲスル方法デアルカト云フ問ニ對シマシテハ、政府ハ小型船ノ是マデノ働キ、今後ノ使命等ニ付テハ十分ニ理解ヲ致シテ居ルカラ、出來ルダケノ援助ヲ與ヘル方針デアル、尙ホ組合ノコトニ付キマシテモ、實際ノ事情ニ卽シテ、小型船等ニ對シテモ大型船ヨリ壓迫ヲ受ケルガ如キコトノナイヤウニ注意ヲスルト云フコトノ答辯デアリマシタ、ソレカラ對支海運政策ニ付テノ質疑應答デアリマスガ、支那ニ對シテ日本ノ海運ガ發展ヲスレバ、其ノ必然ノ勢トシテ新ナル會社ガ生レルト云フコトノ運命ニアル、其ノ新ニ生レル會社ニ付テハ今日如何ナル程度ニ交涉シツツアルカ、其ノ內容如何、斯ウ云フコトノ問ガアリマシタ、此ノ問題ハ對外的ニモ種々ナル影響ノアル問題デアルカラ、祕密會ニ於テ答辯ヲスルト云フコトデアリマシタ、祕密會ニ於テハ或ル程度ノ政府ノ說明ヲ聽イタノデアリマスガ、此ノ場合之ヲ申上ゲルコトハ差控ヘマス

次ハ對支海運國策ヲ完全ニ遂行セントスルナラバ、ドウシテモ港ヲ修築シテ掛ラナケレバナラヌ、天津、白河、靑島、蓮雲等ノ港ハ何レモ規模ガ小サキニ失シ、若クハ海底ガ淺イ爲ニ大キナ船ヲ著ケルコトハ出來ヌ、折角多數優良ナル船舶ヲ造ツテモ、港ノ設備ガ之ニ伴ハナケレバ用ヲ爲サヌ、此ノ點ハ如何ト云フコトノ問ニ對シマシテハ、政府ハ殊ニ興亞院ニ於キマシテハ、目下ソレ〴〵技術ノ方面ニ於テ研究中デアルト云フコトノ答辯デアリマシタ、其ノ他日本ガ燃料ニ不足ヲ告ゲテ居ルト云フコトハ公知ノ事實デアリマスガ、近來秋田地方ニ於ケル油田ハ相當豐富ナルモノガアル、又日「ソ」ノ關係カラ考ヘテモ、此ノ方面ノ油田開發、又更ニ直チニソレヲ船ニ積ム爲ニハ、相當ノ築港計畫モ必要デアラウト云フヤウナ質問モアリマシタ、或ハ船價償却ノ問題等モアリマシタガ、是等ノ問題ハ何レモ速記錄ニ於テ御諒承願ヒタイト存ジマス

本日ヲ以テ質疑ヲ打切リマシテ、討論ニ入リマシタ所、民政黨ヲ代表シテ木原七郎君ハ、此ノ三ツノ法案ハ何レモ時代ノ要求ニ應ジタル良案デアル、併シナガラ其ノ運用ヲ誤ツタナラバ、折角ノ名案モ其ノ效ヲ奏スルコトハ出來マセヌカラ、十分ニ運用ニ注意ヲシテ貰ヒタイ、尙ホ物的資材ノ整備ノ外ニ人的資材ヲ整備スル必要ガアル、卽チ海員ノ養成ニ最大ノ注意ヲ拂ハネバナラヌ、又海事行政ノ統一ヲ圖ルコトガ現下ノ急務デアルト云フコトノ意見ヲ陳述セラレマシテ、三案ニ對シテハ下ノ如キ附帶決議ヲ附シテ原案ニ贊成スルト云フコトノ意見ノ陳述ガアリマシタ、其ノ附帶決議ハ

內外ノ情勢ニ鑑ミ本邦海運伸展ノ根本方策ヲ講スルコトハ現下喫緊ノ要務ナリト認ム依テ政府ハ內地外地ノ海事行政ヲ統一シテ滿支トノ連絡ヲ密接ニシ以テ一元的海運國策ヲ樹立スル爲速ニ適當ノ措置ヲ採ルヘシ

之ニ對シマシテ政友會ヲ代表シテ田中源三郎君ガ大體同樣ノ意見ヲ述ベラレテ、贊成ノ意ヲ表明セラレタノデアリマス、殊ニ田中君ハ、今後日本ガ海運政策ニ於テ勝ヲ制セントスレバ、遠洋航路ニ於ケル配船ノ手配ニ最善ヲ盡サナケレバナラヌ、此ノ點ニ十分注意ヲ致サナケレバ、外國トノ對抗ニ

於テ勝ヲ制スルコトガ出來ヌト云フコトヲ熱心ニ主張セラレマシテ、原案竝ニ附帶決議ニ贊成ノ意見ヲ述ベラレマシタ、第一議員俱樂部ヲ代表シテ靑木精一君ガ、同樣ニ內地外地ノ海事行政ノ統一ノ必要ナルコトヲ强調セラレテ、贊成ノ意見ヲ述ベラレマシタ、最後ニ社會大衆黨ノ米窪滿亮君モ大體ニ於テ同樣ノ意見ヲ述ベラレマシタガ、殊ニ海員ノ養成ト云フコトニ對シテハ熱心ニ强調セラレマシテ、原案竝ニ附帶決議ニ贊成ノ意見ヲ述ベラレマシタ、採決ノ結果三案竝ニ附帶決議共滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、此段御報告申上ゲマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　三案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君　直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

船舶建造融資補給及損失補償法案
第二讀會（確定議）
海運組合法案
第二讀會（確定議）
造船事業法案
第二讀會（確定議）

○議長（小山松壽君）　別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決確定致シマシタ（拍手）

○服部崎市君　委員會ニ附託セラレタル議案ノ報告ヲ待ツ爲、暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、暫時休憩致シマス

午後三時七分休憩

午後三時五十四分開議

○議長（小山松壽君）　休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、日程第一、昭和十四年法律第二號中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス——松村大藏政務次官

第一　昭和十四年法律第二號中改正法律案（昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件）（政府提出）　第一讀會

昭和十四年法律第二號中改正法律案

昭和十四年法律第二號中左ノ通改正ス

第一條中「七億九千五百八十萬圓」ヲ「九億八千四百九十萬圓」ニ改ム

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員松村光三君登壇〕

○政府委員（松村光三君）　只今議題トナリマシタ昭和十四年法律第二號中改正法律案提出ノ理由ヲ御說明致シマス、昭和十四年度一般會計總豫算及ビ同追加豫算第一號ニ計上致シマシタル歲出ノ財源ニ充ツル爲必要ナル公債ノ發行ニ付キマシテハ、今期議會ニ於テ既ニ二回ニ亙リ之ニ關スル法律案ヲ提出致シタノデアリマスガ、今回別途提出ノ第二號追加豫算案ニ計上シテアリマスル經費ノ所要財源總額中千二十餘万圓ニ付キマシテハ、普通歲入及ビ道路公債法ニ依ル公債金ヲ以テ充當シ、一億八千九百餘万圓ニ付キマシテハ、今日ノ場合之ヲ歲入補塡公債ノ財源ニ依ル外アリマセヌノデ、既ニ公布セラレマシタル昭和十四年法律第二號ノ公債發行限度法定額ヲ九億八千四百九十万圓ニ增額スル爲本法律案ト致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長（小山松壽君）　本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君　本案ハ政府提出昭和十三年法律第六十四號中改正法律案外一件委員ニ併セ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君　議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ此ノ際政府提出、米穀配給統制法案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ、米穀配給統制法案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長添田敬一郎君

米穀配給統制法案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一米穀配給統制法案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

委員長　添田敬一郎

衆議院議長小山松壽殿

（別紙）

（小字及——ハ委員會修正）

米穀配給統制法案中左ノ通修正ス

第四條　政府ハ○特ニ必要アル場合ニ於テ米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者ニ對シ○前項ノ命令ノ定ムル所ニ依リ○米穀ノ配給統制上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

政府必要ト認ムルトキハ何時ニテモ第一條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ命ジ又ハ其ノ帳簿物件ヲ檢査スルコトヲ得

第二十七條　理事長及副理事長ハ政府之ヲ命ジ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ政府ノ認可ヲ受クルモノトシ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス

日本米穀株式會社ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五箇年間日本米穀株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條　日本米穀株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一　米穀市場ノ開設

二　政府ノ委託ニ依ル米穀ノ買入又ハ賣渡

三　前二號ノ事業ニ附帶スル事業

四　其ノ他本會社ノ目的達成上必要ナル事業

日本米穀株式會社ハ前項ノ事業ノ外命令ノ定ムル所ニ依リ米穀市場ノ開設ニ

附帶シ麥、大豆其ノ他ノ雜穀又ハ肥料ヲ賣買取引スル市場ヲ開設スルコトヲ得

前項ノ麥、大豆其ノ他ノ雜穀又ハ肥料ヲ賣買取引スル市場ニ於テハ其ノ賣買取引ニ付差金ノ授受ニ依リ決濟ヲ爲スコトヲ得ズ

前日本米穀株式會社第一項第三號若ハ第四號又ハ第二項ノ事業ヲ營マントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

日本米穀株式會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止シ又ハ休止スルコトヲ得ズ

第五十條　日本米穀株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ理事長又ハ理事長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副理事長ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス副理事長又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副理事長又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

一　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二　第二十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ

三　第三十五條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

日本米穀株式會社ノ理事長、副理事長又ハ理事第二十八條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

昭和十四年四月一日現ニ第一條第一條ノ規定施行ノ際現ニ同條ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第五十九條　同條ノ許可ヲ受クベキ米穀ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業務ヲ行フ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ同條ノ規定施行ノ日ヨリ之ヲ同條ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

〔添田敬一郎君登壇〕

○添田敬一郎君　只今議題ニナリマシタ米穀配給統制法案ノ委員會ニ於ケル經過ノ大要及ビ其ノ結果ヲ御報告申上ゲマス

御承知ノ通リ本法案ハ平時戰時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ、米穀ノ圓滑ナル配給ト適正ナル價格ノ構成ヲ圖ル爲、速ニ是ガ取引機構ヲ改革シ、投機取引ヲ抑制シ、實需ニ基ク正米取引ヲ原則トスル機構ニ改メ、併セテ米穀取扱者ノ許可制ヲ布イテ、米穀配給統制ノ體制ヲ整ヘントスルモノデアリマシテ、今議會ニ於ケル最モ重要ナル法案ノ一ツデアリマスノデ、委員會ニ於キマシテモ會議ヲ重ネマスルコト十一回ニ亙リ、委員諸君ヨリ熱心ナル質疑ヲ試ミラレタノデアリマス、又政府ニ於キマシテモ、之ニ對シテ極メテ懇切丁寧ナル應答ガアツタノデアリマス

今其ノ質疑應答ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ

第一ニ、時局下ニ於テ本法案ヲ緊急ニ實施セントスル理由ハ如何ナルモノデアルカ、殊ニ米穀ノ增産計畫ヲ實行スレバ、本法案ハ其ノ必要ガナイノデハナイカトノ質問デアリマシタガ、之ニ對シ政府ハ、時局下ニ於テ國民ヲシテ主要糧ニ毫末モ不安ナカラシムル爲、米穀ノ增産計畫ヲ樹立シテ居リマスガ、當ニ生産ノ增加ニ努メルノミデハ足ラナイノデアリマシテ、米穀ノ賣買取引ヲシテ適正ナル價格ニ依ラシムルト共ニ、米穀ノ偏在其ノ他苟モ米穀ノ配給ニ支障ヲ生ズルガ如キ事態ヲ惹起セシメザルヤウ、豫メ米穀ノ配給統制ニ關シテモ適切ナル方策ヲ樹立シ、萬遺憾ナキヲ期スル必要ガアルノデアリマス、是レ卽チ本法案ヲ此ノ際提案致シタル所以デアルトノ答辯ガアツタノデアリマス

第二ニ、時局下ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミテ、本法案ヲ實施スルノ外、米穀ノ增産ニ關シ徹底的方策ヲ斷行スルノ要ガアルト思フガ如何デアルカトノ質問ガアリマシタ、此ノ質問ニ對シマシテ政府ハ、內外地ヲ通ズル米穀ノ需給關係ニ支障ヲ生ゼシメザルヤウ、內地及ビ外地ヲ一貫シテ米穀ノ增産計畫ヲ樹立シ、是ガ實行ニ關シ諸般ノ準備ヲ整ヘ、萬遺憾ナキヲ期シテ居ルトノ答辯ガアリマシタ

第三ニ、本法案ハ米穀專賣制ノ前提デアルカ、又本法案ヨリモ寧ロ米穀ノ國家管理又ハ專賣制ヲ實施スルコトガ適當デハナイカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ本法案ハ米穀ノ配給統制ヲ圖ルコトヲ目的トスルモノデアリマス、而シテ米穀ノ國家管理又ハ專賣制ハ種々研究ヲ要スル點ガアリ、現下ノ情勢ニ於テハ未ダ之ヲ實施スルヲ適當ト認ムルニ至ツテ居ラナイノデアリマス、併シナガラ是等ノ制度ニ關シマシテハ、十分ニ調査研究ヲ進メテ參ル考デアルトノ答辯ガアリマシタ

第四ニ本法案ノ實施ニ依リ米穀生產者團體ト米穀商トノ關係ハ如何ニナルカ、又本法案ノ實施ニ依リ米穀商ニ失業者ヲ生ズル虞ハナイカトノ質問、竝ニ中小商業者ノ問題ハ極メテ重大デアルノミナラズ、現在產業組合ト商業者ノ間ニ相當深刻ナル相剋摩擦ガアルノデアリマシテ、政府ハ之ニ對シ如何ニ考ヘテ居ルカト云フ質問ガアツタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ、本法案ハ米穀生產者及ビ米穀商等ヲシテ各〻其ノ職分ニ應ジ米穀政策ニ協力セシメントスルモノデアツテ、其ノ一方ノ擴充又ハ抑制ヲ圖ラントスルモノデハナイノミナラズ、其ノ立案ニ當リ兩者ノ調整ニ關シテ意ヲ用ヒテ居リマスカラ、本法案ニ依ツテ特ニ摩擦相剋ヲ來ス虞ハナイモノト信ジテ居リマス、又本法案ハ現存ノ米穀配給業者ノ安定ヲ圖リツツ、米穀ノ配給統制ニ協力セシメントスルモノデアルカラ、本法案ノ實施ニ依リ米穀商ニ失業者ヲ生ズルコトハナイモノト認メテ居ル、又產業組合ト商業者間ノ摩擦ヲ避ケルコトハ勿論、其ノ他中小農商業者ニ關スル問題ハ極メテ重要ナルモノデアルカラ、政府ハ內閣ニ官民ヲ網羅スル一大調査機關ヲ設置シテ、十分ナル考究ヲ遂ゲテ對策ヲ講ジタイトノ答辯ガアツタノデアリマス

第五ニ、本法案ト朝鮮米ノ統制トノ關係ハ如何ニナルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ハ、朝鮮米ノ統制ニ關シテハ、其ノ內地ニ移入セラレタルモノニ付テハ、本法案ノ運用ニ依リ是ガ配給ノ統制ヲ爲シ得ルコトトナルノデアリマスガ、朝鮮內ニ於ケル統制竝ニ內地移入ノ過程ニ關シマシテハ、本法案ニ對應シテ適切ナル統制方策ヲ速ニ樹立スル見込デアリマストノ答辯ガアツタノデアリマス

第六ニ本法案第四條ノ統制命令ノ發動ノ場合、其ノ範圍及ビ命令ノ內容ハ如何ナルモノデアルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテ本條ノ統制命令ハ、非常ノ場合、卽チ米穀ノ偏在等ニ依ツテ、米穀ノ配給ノ圓滑ヲ著シク阻碍スル虞アル場合ニ於テ、是ガ發動ヲ見ルモノデアリマス、斯ル場合ニ於テハ配給ヲ業務トスル者ニ對シ命令ヲ爲スコトニ依ツテ、大體其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト考ヘルガ、極端ナル場合ニハ業者以外ニモ之ヲ及ボシ得ルコトト致シテ、配給ノ統制上萬全ヲ期シテ居ルノデアル、而シテ命令ノ內容ハ時ノ事情、命令ノ對象等ニ依ツテ異ナリマスノデ、一概ニ之ヲ豫定シ難イノデアリマスガ、例ヘバ米穀ノ買占、賣惜ノ禁止、販賣價格又ハ販賣先ノ指定等モ豫想セラレマストノ答辯ガアツタノデアリマス

第七ニ、米穀市場ニ於テ延取引及ビ未著物取引ニ付キ差金決濟ヲ認ムルコトハ、投機ヲ認ムルコトトナツテ、投機ノ抑

制及ビ實米ノ取引ヲ行ハシムルト云フ本案ノ趣旨ニ反スルモノデハナイカト質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテハ米穀市場ニ於テハ實米ノ取引ヲ行ハシメントスルモノデアルガ、配給ノ圓滑ヲ期スル爲ニハ、相當長期ニ亙ル未著物取引及ビ延取引ヲ認ムル必要ガアルノデアリマシテ、且ツ是等長期取引ニ付テハ、或ル程度差金ノ授受ニ依ル決濟ヲ認ムルノ要ガアリマスノデ、是等ノ取引ノ履行期ニ於ケル決濟ニ限リ、差金ノ授受ヲ認ムルコトト致シタノデアツテ、全ク取引ノ圓滑ヲ圖ル爲、現在ニ於テハ必要ナルモノト考ヘテ居リマストノ答辯ガアリマシタ

第八ニ、最高價格ヲ標準トシテ米穀ノ取引價格ヲ抑制スルコトトナレバ、增產計畫ノ實行上支障ヲ生ズル虞ハナイカ、又現在ノ標準最高價格ハ、物價ノ事情ニ甚シイ變動ガアツタ場合ニハ、之ヲ變更スル意思ガアルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ政府ハ、最高價格ノ決定ニ際シテハ、米價ヲ一般物價ト十分ニ調和セシムルヤウ愼重ニ考慮致シタノデアリマスルガ、農業生產ノ遂行ヲ容易ナラシムル爲ニハ、更ニ肥料、農具等生產資材ノ價格引下ニ努ムル所存デアリマス、又一般物價其ノ他ニ著シキ變動ヲ生ジマシタル際ハ、最高價格ノ改定ニ付テモ考慮シ得ルノ途ガアルノデアリマストノ答辯ガアリマシタ

第九ニ、日本米穀株式會社ガ米穀市場ニ附帶シテ雜穀、肥料等ノ市場ヲ開設シ得ルコトトシタ理由ハ如何ナルモノデアルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテハ、現在正米市場ニ於テハ雜穀、肥料等ノ取引ヲ爲シテ居ルモノガ若干アリマスガ、正米市場ノ廢止ニ伴ヒ是等ノ市場ヲ遽ニ閉鎖セシムルコトハ種々支障ヲ生ズル虞ガアリマスノデ、之ヲ本會社ニ於テ引續キ行ヒ得ルコトト致シタノデアリマシテ、將來右市場ニ依リ積極的ニ雜穀、肥料ノ取扱ヲ爲サシメントスルモノデハアリマセヌトノ答辯ガアリマシタ

第十ニ、本法案第七條ニ依リ米穀市場ノ賣買取引ノ價格ハ、米穀統制法ノ最低最高價格ニ準據シテ定ムル價格ノ範圍內ニ制限セラルルガ、市場外ニ於ケル取引ニ付テハ如何ニナルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ本法案ハ實米取引ノ主要ナル部分ヲ米穀市場ニ於テ行ハシメルモノデアリマスルガ故ニ市場外ニ於ケル取引價格ハ大體ニ於テ米穀市場ノ取引價格ニ從フコトトナリマスカラ、市場內ノ取引價格ヲ制限スルコトニ依リ、市場外ノ取引價格モ自ラ制限ノ範圍內ニ止マルモノト考ヘテ居リマス、尙ホ市場外ニ於ケル所謂闇取引ノ如キモノガ相當行ハレルヤウナコトガ生ジマシタ場合ニハ、統制命令ノ發動ニ依リ適當ナル措置ヲ講ジ、遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマストノ答辯ガアリマシタ

第十一ニ、取引所ハ本法ヲ以テ之ヲ廢止スルノデアルカラ、其ノ營業權ハ之ヲ賠償スベキモノデハナカラウカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ取引所ノ土地、建物等ノ設備ハ、適當ナル價格ヲ以テ買取リ、又其ノ株主使用人及ビ取引員ニ對シテモ、米穀會社ノ從業員トシ、又ハ轉業資金ノ貸付等、然ルベキ措置ヲ講ジマスノデ、現狀ニ於ケル措置トシテハ、此ノ程度ヲ以テ已ムヲ得ザルモノト認メルトノ答辭ガアリマシタ

以上ハ委員會ニ於ケル主ナル質疑應答デアリマスガ、右ノ外法文ニ付逐條的ニ質疑應答ガ行ハレタノデアリマスガ、是等ノ詳細ハ速記錄ニ依ツテ御覽ヲ願フコトト致シタイト考ヘマス

最後ニ一般ノ質疑ヲ打切リ討論ニ入ルコトニナリマシタガ、討論ニ入ルニ先ダチ委員長タル私ヨリ次ノヤウナ質問ヲ致シマシタ

第一ニ、第一條ニ依リ許可ヲ受クベキ者ノ家督相續人ニ付テハ、改メテ第一條ニ依ル許可ヲ要セザルコトニスルコトガ適當デアルト考ヘルガ、政府ノ意見如何ト云フニ對シマシテ、政府ハ御趣旨ニ副フヤウ致シタイト云フ答辯ガアリマシタ

第二ニ、讓渡ハ許可ヲ受ケタル者ガ死亡シ、其ノ相續人ガ業務ヲ行フニ適シナイ爲、緣故者ニ業務ノ繼承ヲ希望スル場合、特ニ許可スルコトニシテ貰ヒタイト云フ希望ニ對シ、政府ハ許可ニ際シ十分御趣旨ニ副フヤウ致シタイトノ答辯ガアリマシタ

第三ニ、第四條ニ依ル配給統制命令ヲ出ス場合ニ於テハ、米穀統制委員會ノ議ヲ經ルコトガ適當デアルト考ヘルガ、政府ノ御意見如何ト云フニ對シマシテ、政府ハ第四條ノ規定ニ依ル統制命令ノ發動ニ際シテハ米穀統制委員會等ノ議ヲ經ルヤウニ致ス積リデアルトノ答辯ガアリマシタ

第四ニ、第六條ノ勅令ニ關聯シテ新會社ノ開設スル米穀市場ニ於テハ、投機取引ヲ抑制スル見地ヨリ、延取引ハ之ヲ行ハシメザルコトガ適當ト考ヘルガ、政府ノ御意見如何ト云フニ對シ、政府ハ延取引ハ出來得ル限リ避ケタイト思ヒマスガ、現在ノ情勢ヨリ考ヘマシテ、東京、大阪ノ二箇所ニ之ヲ許シ、其ノ他二三箇所ニ限リ專門委員會ヲ開キ、其ノ案議ノ結果ニ依リ決定致シタイト思ヒマストノ答辯ガアリマシタ

次ニ討論ニ入リマシテ、民政黨ノ長野綱良君ヨリ御手許ニ配付致シテアリマス如キ修正ヲ附シテ、本案ニ對スル贊成ノ意見ガアリマシタ、其ノ修正ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、第四條ハ、本條ノ發動ハ國民ニ重大ナル影響ガアル、仍テ本條ハ特ニ必要アル場合ニ限リ發動スベキモノナルコトヲ明ニシ、且ツ其ノ發動ニ付テモ十分愼重ヲ期スル爲、勅令ノ定ムル所ニ依ツテ米穀統制委員會等ノ議ヲ經ルコトガ適當デアル、斯ウ云フ見地ヨリ斯ノ如ク修正シタノデアリマス、第二十七條ハ、監督官廳ノ官吏デアツタ者ニ對シ、一定年ノ間本會社ノ役員タルコトヲ禁ゼンガ爲デアリマス、第二十九條ハ、爰其ノ他ノ雜穀及ビ肥料ニ付テハ、現在ニ於テ統制アル配給組織確立ガセラレテアルノデアルカラ、更ニ本會社ニ於テ是等ノ物ヲ取扱フノ要ナキモノト認メタガ爲デアリマス、第五十條ハ、第二十九條ノ修正ニ伴フ結果デアリマス、第五十九條ハ、米取扱業者ニ對スル許可制ニ關スル第一條施行迄ノ間ニ於テ、單ニ權利ヲ獲得スルノミノ目的デ、一時ニ多數ノ新規開業者ノ生ズルコトヲ防止センガ爲デアリマス、次ニ政友會ノ田中好君ヨリモ同樣ナ修正ヲ附シテ本案ニ對スル贊成意見ガアリマシタ

次ニ第一議員俱樂部ノ北君及ビ社會大衆黨ノ杉山君ヨリ、左ノ數箇條ノ希望意見ヲ附シテ本案ニ對スル贊成意見ガアリマシタ、其ノ希望意見ハ左ノ通リデアリマス、先ヅ北君ノ希望意見ハ

一、政府ハ戰時下國民生活安定ノ爲米穀其ノ他食糧供給確保ニ付キ萬全ヲ期スベシ

二、政府ハ第四條ノ命令ノ發動ニ當リテハ特ニ愼重ナル措置ヲ採ルベシ

三、政府ハ米穀ノ最高最低價格ノ決定ニ付キテハ他物價ニ比シ其ノ適正ヲ失セザルヤウ最善ヲ期スベシ

四、政府ハ肥料及其ノ他ノ農業生產資材ノ配給ニ付キ適切敏速ナル方途ヲ講ズベシ

此ノ四箇條デアリマス、又杉山君ノ述ベラレタ希望意見ハ次ノ通リデアリマス

一、本法ハ將來凶作其ノ他ノ事情ニ因リ食糧ニ窮屈ヲ感ジタル際ノ配給統制機構トシテハ不十分ナル點アルヲ以テ、政府ハ速ニ米穀專賣制ヲ實施スルカ、

或ハ其ノ他ノ方法ニ依ル完全ナル米穀配給機構ヲ立案スベシ

二、本法ハ戰時米穀政策上、重大ナル增産計畫、配給計畫及ビ消費節約計畫ノ關聯ヲ缺ケルヲ以テ、政府ハ速ニ米穀消費節約運動ヲ積極化スベシ

三、本法施行後生ズル取引所員其ノ他ノ犧牲者ニ對シテハ、特ニ適正ナル對策ヲ確立シ萬遺憾ナキヲ期スベシ

四、政府ハ米穀增産政策ヲ徹底セシムル爲ニ、生産資材ノ割當ニ付テハ、軍需ト同等ノ重要性ヲ確認シ、其ノ供給ヲ確保スルト共ニ、配給ニ付テモ生産者ニ十分行渡ルヤウ其ノ配給機構ノ改善ヲ期スベシ

五、米穀生産者ニ對シ、豐富ナル肥料割當ヲ行フ爲ニ、肥料配給統制ノ範圍ヲ有機質肥料ニマデ擴大シ、其ノ價格ノ暴騰ヲ抑ヘ、且ツ其ノ配給割當ヲ貧農層ニマデ普遍スルノ方途ヲ速ニ講ズベシ

六、現下ノ農村勞働力缺乏ノ實情ニ鑑ミ、勞働力補給調整ノ施設ヲ完備スルト共ニ、農業ノ協同化、機械化、電化等ヲ促進シ、單位勞働生産性ノ向上ヲ期スベシ

七、低價格ニ依ル增産ヲ必至トスル時局ノ要望ニ鑑ミ、農家必需品ノ鋏狀價格差ヲ是正シ、其ノ引下ヲ計ルト共ニ、不合理ナル農業機構ノ改革ヲ期シ、農産品ノ生産費切下ヲ徹底セシムル爲ニ、小作料ノ低減、耕地ノ交換分合等ヲ實現スル爲ノ土地ノ公益的國家管理ヲ斷行スベシ

次ニ東方會ノ小野謙一君ヨリモ修正案ニ同意シ、其ノ他ハ政府原案ニ贊成スル旨ノ意見ガアリマシタ、討論終結ニ當リ第一議員俱樂部ノ窪井義道君ヨリ、本案ニ對スル修正ニ對シ政府ノ意見ヲ求メタルニ對シマシテ、政府ニ於キマシテハ、只今直チニ進ンデ御同意致シ兼ネマスガ、本案ガ兩院ヲ通過確定致シマシタ場合ハ、十分尊重シタイト考ヘテ居ルト云フ答辯ガアリマシタ、而シテ採擇ノ結果ハ長野君ノ修正ヲ可決スルト同時ニ、其ノ他ノ部分ニ付テハ原案通リ決定ヲシタ次第デアリマス、以上經過竝ニ結果ノ御報告ヲ申上ゲル次第デアリマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　本案ノ委員長報告ハ修正デアリマスカラ、討論ハ便宜上第二讀會ニ於テ爲スコトト致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君　直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス——討論ニ入リマス、通告順ニ依リ發言ヲ許シマス——高田耘平君

米穀配給統制法案

第二讀會

〔高田耘平君登壇〕

○高田耘平君　私立憲民政黨ヲ代表致シマシテ、只今委員長ノ報告セシ案ニ贊成ノ意ヲ表シマス、實ハ私ハ本案ニ贊成ノ理由ヲ述ベ、次ニ本案ニ依ツテ如何ナル影響ヲ各業態ノ方々ニ及ボスカト云フコトヲ申上ゲテ、最後ニ二ツノ希望ヲ申上ゲヨウト存ジタノデアリマス、所ガ時間ヲ非常ニ制限ヲ受ケテ居リマスカラ、本案ニ贊成ノ理由ハ、最初農林大臣ガ此ノ案提出ノ當時說明シタコトニ依ツテ大體分ツテ居リマスカラ、是ハ全然略シマス、而シテ最モ關係ノアル方面、此ノ案ヲ施行ニ依ツテ如何ナル影響ガ各方面ニ及ブカト云フコトヲ、御參考ニ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス

第一ハ生産者、卽チ農民ニ對シテドウ云フ影響ガ及ブカト云フコト、是ハ其ノ第一ハ農民ノ代表タル全販聯ガ市場員トシテ其ノ米ヲ販賣スルコトガ出來マスカラシテ、其ノ點ニ於テ農民ハ相當ニ自分ノ米ヲ賣ル上ニ利益ガアルト存ジマス、而シテ斯ウ云フ說モゴザイマス、此ノ法律ノ爲ニ最高基準以上ニ農民ガ賣ルコトガ出來ナイカラ、ソレガ爲ニ農民ガ不利益ニナルノデヤナイカト云フ說ヲ爲ス者モゴザイマス、併シナガラソレハ假令本法ガナクトモ米穀統制法ガ運用サレマシテ、政府米ガ相當數量アル場合ニ於キマシテハ、如何ナル場合ニ於テモ最高基準以上ニ出ナイノデゴザイマスルカラ、而シテ農民ハ最低基準ヲ保護サレテ居ルノデゴザイマスルカラ、私ハ本法ニ依ツテ最高基準以上ニ賣却スルコトヲ得ザルニ至ツタ所ガ、農民トシテ敢テ損スル所ハナイト信ジテ居ルノデゴザイマス、第三ハ本法ニハアリマセヌガ勅令ニアル、卽チ販賣組合ガ白米ヲ小賣スルコトガ自由ニ出來ナイト云フコトニナルノデゴザイマス、是ハドチラカト言ヘバ、產業組合ノ或ル意味ニ於テ退歩ト見レバ見ラレマス、併シナガラ主義トシテハ私ハ贊成ハ致シマセヌガ、產業組合ガ米ヲ白米ニシテ小賣スルト云フコト、其ノ事ガ、果シテ組合トシテ利益ガアルヤ否ヤ（「ノーノー」）ト云フコトニ付テ、深キ疑問ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、殊ニ一般ガ免許制ニナル場合ニ於キマシテハ、此ノ點ハ多少忍ブモ敢テ農民トシテ左程ノ影響ハナイト信ジマス（「認識不足ダ」ト呼フ者アリ）更ニ多數ノ小賣商人ニドウ云フ關係ガアルカト云フコトヲ考ヘルト、今度ハ小賣人ガ免許制度ニナリ、其ノ營業權ヲ確保サレマス、私ハ現在マデノ小賣營業者ハ、非常ニ安心シテ其ノ營業ニ從事シ得ルト思ヒマス、加之小賣商ガ商業組合ヲ組織シテ、其ノ商業組合ガ市場員トナツテ米ヲ買フコトガ出來ルノデアリマスカラ、從來ノ問屋或ハ卸賣商ヨリ買フヨリモ、餘程小賣人トシテハ利益ヲ得ルコトト私ハ固ク信ジマス、然ラバ取引所ノ株主、或ハ取引員及ビ從業者ハドウ云フ關係ニナルカト申シマスレバ、取引所ガナクナリマスルケレドモ、取引所ノ取引員及ビ從業者ハ政府ガ之ニ對シテ或ル程度ノ救濟——ト云フ言葉ハ當リマセヌガ、相當ノ世話ヲ致シ、生活ノ安定ヲ計リマス、而シテ又取引所ノ株主ニ對シテハ、而モ六分ノ配當ノ見込ノアル其ノ株式ノ引受ニ優先權ヲ與ヘルノデゴザイマス、隨テ米穀統制法施行以來氣息奄々タル取引所ノ株主ハ、大旱ニ雲霓ヲ望ムガ如キ感ガアルト存ジマス、然ラバ問屋及ビ卸賣商ニドウ云フ關係ガアルカ、是ハ遺憾ナガラ多少ノ關係ガアルト思ヒマス、私ハ赤裸々ニ申シマス、多少ノ打擊ヲ受ケルト思ヒマス、產地仲買人ハドウカ、是ハ全販聯ガ市場ニ進出シマシタ所ガ、左程急ニ影響ハナイト思ヒマス、然ラバ消費者ハドウカト言ヘバ、小賣人ガ生活ノ安定ヲ得ル、卽チ是ガ爲ニ其ノ營業ニ裕トリガ出來マスルカラ、不當ノ競爭ニ依ツテ米ヲ安ク買フヤウナコトハナイカモ知レマセヌガ、間接ニ消費者ニ相當ノ利益ガアリト信ジマス、加之全販聯ノ市場進出ニ依リマシテ、ドウ云フ影響ガ及ブカト申シマスレバ、市場ニ於テ市場員ガ若シ問屋及ビ卸賣商デノミデアツタ場合ニ於キマシテハ、單ニ營利心ニノミ驅ラレテ、或ハ買煽リ、或ハ又無闇ニ賣出ス、斯ウ云フヤウナコトヲ致シマシテ、米價ノ暴騰暴落ヲナス虞ガアリマスケレドモ、全販聯ガ大量ノ米ヲ以テ、サ

ウシテ是等市場員ト對抗スル場合ニ於テ、私ハ或ル程度ニ於テ米價ノ低下ヲ圖ルコトガ出來ルト存ジマス、卽チ商賣人モ大體ニ於テ問屋、卸賣ヲ除クノ外、小賣人モ、消費者モ、農民モ、此ノ法律ノ施行ニ依ツテ或ル程度ノ利益ヲ受クルコトハアルコトハ、是ハ何ヲヤツテモ我慢ヲシナケレバナラヌト存ジマス、斯ノ如クニシテ私ハ本法律ニ依ツテ相當ニ國民生活上安定ヲセシムルコトガ出來、尙ホ生産者ニ對スル利益モ今後增進スルコトガ出來ルト信ズルノデゴザイマス

世上或ハ全販聯ノ進出ニ依ツテ、商賣人ガ非常ナ惡影響ヲ受クル如キコトヲ唱道スル者モアルヤウデゴザイマスルケレドモ、私カラ見レバソレハ信ジマセヌ、今現在ノ全販聯ガ如何ナル程度ニ於テ米ヲ扱ツテ居ルカト云フコトヲ見ルト、先ヅ內地米ノ販賣米ヲ約三千五百万石ト見マシテ、其ノ中單位產業組合ガ扱フ數量ガ九百三十万石、而シテ全販聯ノ扱フ數量ト云フモノ僅ニ三百七十五万石デゴザイマシテ、總販賣數量三千五百万石ノ一割强ニ過ギナイノデゴザイマスカラ、大部分ハ皆商賣人ガ扱ツテ居ルノデゴザイマス、然ラバ本法實施ニ依ツテ全販聯ノ扱フ米ガ非常ニ殖エルカト申シマスト、サウ云フコトハ何トシテモ想定出來マセヌ、但シ今後農民ノ經濟的自覺ニ依ツテ、單位產業組合ガ漸次發展シタ場合ニ於キマシテハ、勿論全販聯ノ扱フ數量モ殖エルノデゴザイマス、併シナガラ弱小ナル農民ガ其ノ經濟的利益ヲ擁護スル爲ニ、自分ノ生產シタル米ヲ之ヲ成ベク多量ニ集メテ、比較的有利ニ賣ルト云フ此ノ產業組合ノ事業ヲ、如何ナル政治家モ如何ナル政黨モ之ヲ抑ヘル勇氣ノアル人ハナイト信ジマス（拍手）故ニ將來ハ兎モ角、五年、三年ノ內ニ全販聯ノ非常ナル進出ヲ見込ムト云フコトハ、私ハ間違ツタ考デアルト思フノデアリマス、斯ル理由ヲ以テ此ノ案ニ付テ商賣人ノ一部ガ或ハ恐怖心ヲ起シ、又各地ヨリ今ニモ米穀業者ガ破產ニ瀕スルガ如キ態度ヲ以テ、吾々ノ所ヘヨク電報ヤ手紙ヲ寄越スケレドモ、是ハ皆ナ事實ヲ知ラザル誤ツタ判斷デゴザイマス（「ノー〳〵」「ヒヤ〳〵」）是故ニ私ハ敢テ相剋摩擦ヲ起スモノニアラズ、總親和ヲ害スルモノニアラズ、故ニ本案ヲ徹底的ニ支持スル者デゴザイマス

私ハ此ノ場合政府ニ對シテ一二希望ヲ申上ゲタイト存ジマス、ソレハ附則第五十三條「本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ規定ガアルノデアリマス、是ハ珍ラシイ規定デアル、斯ウ云フ規定ガアリマスカラ、第四條ノ發動ノ準備ヲ早ク政府ガスルコトデゴザイマス、卽チ第四條ダケハ早ク發動シ得ルノ準備ヲ急ニ進メラレルコトデアリマス、ト申シマスルノハ、政府ノ發表スル所ニ依レバ、九百二十二万石ノ本年端境期ノ持越ガアリトノ豫想ガ發表サレテアルヤウデゴザイマスケレドモ、私ハ昭和十二年及ビ昭和十三年等ニ於ケル政府ノ見込ミタル消費額ト其ノ實績トニ於テ、相當ノ數字ノ差ガアルコトニ鑑ミマシテ、十四年ノ消費額モ亦多少ノ見込違ガアルノデヤナイカト懸念シマス、又外地米ノ移入ニ付キマシテモ、果シテ豫定數量ノ移入ヲ得ルヤ否ヤト云フコトニ付テ、是亦深キ疑問ヲ持ツテ居リマス、併シ其ノ數字ハ特ニ玆ニ申上ゲマセヌ、故ニ若シ本年ノ氣候ガ米作ニ適セザルヤウナ場合ニ於キマシテハ、或ハ恐ル、第四條ノ發動ヲ要スルニアラズヤト心配セザルヲ得ナイノデゴザイマス、是ニ於テ私ハ成ベク早ク第四條ノ發動ノ出來ル準備ヲ政府ニ用意シテ貰ヒタイト云フコトガ私ノ希望ノ一ツデアリマス

希望ノ第二ハ增產ニ付テノ問題デゴザイマス、先達吾々ハ決議案ヲ提出致シマシタ、其ノ結果カドウカ知リマセヌガ、兎モ角モ其ノ各種ノ生產擴充計畫等ニ最モ深イ關係ノアル所謂農家實行組合ニ對シテ、私ノ計算デハゴザイマセヌガ、其ノ問題ニ付テ極メテ熱心ナル村上國吉君ノ計算ニ依リマスレバ、約千九百万圓ノ金ガ農村ノ部落實行團體ニ昭和十四年度ニ於テ交付サレルコトニナルサウデゴザイマス、私ハ此ノ點ニ付テ農林大臣及ビ大藏大臣ガ、此議會ノ院議ヲ重ンジマシテ、部落實行團體助成ニ付テ相當ノ額ヲ計上シタコトニ付テ深ク敬意ヲ表シマス、唯併シナガラ遺憾ナルコトハ、物ヲ增產セヨト云フノニ、物ノ値段ヲ安クシテ置イテ物ヲ增產セヨト云フ程、是程矛盾ノ甚ダシキモノハアリマセヌ、私ハ昨年ノ米穀統制委員會ニ於テ其ノ事ヲ述ベマシタ、所ガ時ノ農林大臣有馬君ハ先ヅ此ノ際我慢シテ吳レ、併シナガラ一般物價ガ、卽チ農業資材ガ米價ヨリモ現在高イノデアルガ、之ヲ何トカ引下ゲテ、農民ノ買フ必要資材ト米價トノ平準ヲ得セシムルヤウ努メルトノ聲明ヲシタノデゴザイマス、所ガ聲明ヲシタ有馬君ハ何處カヘ行ツテシマツテ當テニナラヌ、是ハ已ムヲ得マセヌ、併シナガラ此ノ位矛盾シタコトハナイ、吾々ハ此ノ際物價政策上米價ヲ引上ゲヨトハ申シマセヌ、併シナガラ肥料ナリ、鐵ナリ、其ノ他有ユル生產資材ガ非常ニ高クナツタ場合ニ於キマシテ、而シテ一面農產物ノ生產擴充ヲ圖ル場合ニ於キマシテハ、政府ハ全力ヲ傾倒シテ有ユル物價ノ低下ヲ圖ルハ勿論、殊ニ農業生產資材ノ價格ノ低下ニ努メラレンコトヲ要望スル次第デアリマス、（拍手）是ヲクシテ、貴樣達農產物ヲウント作レ、併シソレハ安ク賣レ、コンナ馬鹿ナコトヲ言ツタツテ出來ル筈ハナイ、私ハ米價ヲ高クセヨトハ申シマセヌガ、私ハ總理大臣首メ農林大臣ニ對シ、農用資材引下ニ努メラレンコトヲ御願シマス、ソレト同時ニ減產ノ虞アル臺灣米管理ノ如キ計畫ハ、此ノ場合成ベク打切ラレンコトヲ希望スル次第デアリマス、之ヲ以テ終リトシマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　三善信房君

（三善信房君登壇）

○三善信房君　私ハ立憲政友會ヲ代表致シマシテ、只今上程サルテアリマスル法案ニ對シマシテ、委員長ノ報告ニ贊成ヲ致ス者デアリマス、玆ニ本案ヲ修正致シマシタ理由竝ニ其ノ贊成及ビ將來ニ對スル希望ノ一端ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、修正シマシタル一點ハ、本案ニ依リマシテハ米穀業者ガ死亡致シマシタル場合ニ、相續人ガ再ビ許可ヲ受ケナケレバ營業ガ出來ナイト云フ仕組ニナツテ居ツタノデアリマス、苟モ今マデ營業ヲヤツテ來タ者ガ、其ノ營業者ガ死亡シタ爲ニ、再ビ許可ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、是ハ餘リニ殘酷ナル取扱ナリト私ハ信ズルノデアリマス、隨テ屆出ニ依ツテ直チニ其ノ營業ヲ爲シ得ルノ途ヲ開イタノデアリマス、是ガ其ノ第一點デアリマス、營業權免許制度ハ此ノ法案ノ有ツ所ノ唯一ナル重要項目ノ一ツデアリマスルガ、本法ガ愈、實施サルト云フコトヲ見越シマシテ、見越開業ト云フコトガ行ハルルノデアリマス、隨テ業者ヲ保護スル立場カラ考ヘマスレバ、ドウシテモ昭和十四年ノ四月一日ニ現ニ事業ヲヤツテ居ツタ者ニ對シテ、其ノ營業ヲ認ムルコトガ本當ニ親切ナル所以ナリト信ズル者デアリマス（拍手）隨テ其ノ通リニ修正ヲ致シタノデアリマス、尙ホ米穀ノ配給統制ニ依ル所ノ其ノ條項ヲ修正致シマシタノハ、先程高田君カラ申サレマシタ通リニ、政府

ガ特ニ必要ナル場合ニ於テハ、殊ニ米ガ不足スルト云フ場合ニハ、商人ガ持ツテ居ル米デモ、或ハ生産者ガ持ツテ居ル米デモ、總テノ米ニ對シテ或ハ配給上必要ナル所ノ命令ヲ發シ、或ハ之ヲ賣渡ス所ノ命令モ發シ得ラルルノデアリマス、併シナガラ斯様ナルコトヲ爲ス場合ニ、官僚ノ一方的考デヤルコトハ出來ナイノデアリマシテ、吾々民間ノ者モ入レタ官民一致シタル委員會ノ議ヲ經テ行フコトガ當然ナリト考ヘマシテ其ノ事ヲ修正致シタノデアリマス（拍手）

次ニハ肥料及ビ雜穀ノ取扱ヲ削除シタ點デアリマスガ、此ノ點ハ先程高田君カラ申サレマシタ通リデアリマシテ、今肥料ニ付テ、是ハ別ニ單行ノ法律ヲ以テ配給統制ノ途ヲ講ズベキモノデアツテ、此ノ法案ニ掲グベキモノデナイト考ヘマシテ、是等ヲ修正致シタノデアリマス、是ガ私共ノ修正致シマシタル理由ノ一端デアリマス

食糧問題ハ國民生活上最モ重要ナルモノデアリマシテ、特ニ戰時體制下ノ今日ニ於キマシテハ、聊カタリトモ國民生活ニ不安ヲ與フルヤウナコトガアツテハナラナイノデアリマス、本法ハ米ノ價格ノ適正ト配給ノ圓滑トヲ期シマシテ、生産者ヲシテ安心シテ米ヲ作ラシメ、消費者ニ對シマシテ食糧ニ不安ナカラシムルコトガ、其ノ眼目デアルノデアリマス、而シテ此ノ目的ヲ達成致シマスモノハ、生産ノ確保デナケレバナラヌト深ク信ズルノデアリマス、如何ニ價格ノ公正ト配給ノ圓滑トヲ圖ラウト致シマシテモ、生産ガ消費ニ伴ハズシテ、米ガ不足ヲ生ズルヤウナコトガアリマシタナラバ、配給ノ圓滑ヲ圖ルコトガ出來ザルノミナラズ、公正ナル價格ヲ維持スルコトハ出來ナイノデアリマス、必ズヤソコニ闇取引ガ現ハレテ參ルト信ズルノデアリマス、現ニ政府ガ有ユル物資ニ對シマシテ公定價格ヲ決定致シテ居リマスルケレドモ、ヤハリ其ノ品物ガ不足致ス爲ニ、闇取引ガ行ハレテ居ル實情ニ徵シマシテモ、明瞭ナルコトデアルト信ズルノデアリマス、殊ニ食糧ハ一日モ國民ニ缺クベカラザル所ノモノデアリマスルガ故ニ、玆ニ若シ食糧ニ缺乏ヲ來スヤウナコトガアリマシタナラバ、重大ナル事態ヲ生ズルモノト信ズルノデアリマス、然ルニ政府ガ米ノ增產計畫ヲナサルル所ヲ見マスルニ、戰時食糧ニ不安ナキヤウ諸般ノ計畫ハ立テラレテ居ルヤウデアリマスガ、果シテ所期ノ增產ガ爲シ得ラレルヤ否ヤ、吾吾ハ洵ニ憂慮ニ堪ヘザルモノガアリマス、應召及ビ馬匹ノ徵發ニ因ル所ノ勞働力ノ減退ハ避クベカラザルモノデアリマシテ、而モ米ノ價格政策上ノ見地カラ抑制セラレテアリマシテ、生産資材トノ價格差ヲ生ジテ參ツテ居ルノデアリマス、此ノ勞力ハ不足シ、而モ米價ハ安イ、斯ウ云フ不利ナ條件ノ下ニ於キマシテ、米ノ生産維持增進ヲ圖ルニハ、吾々ガ賴リトスルモノハ、肥料ト農業資材ノ供給ニ俟タナケレバ絕對ニ出來ヌト思フノデアリマス（拍手）然ルニ肥料ニ對シマシテハ、過燐酸及ビ加里鹽ノ輸入割當ガ決定セラレマシテ、燐礦石ニ付テ五十万瓲、加里鹽ニ付キマシテ十六万瓲ノ輸入割當ガ決定セラレタノデアリマスルガ、今日ノ施肥ノ時期カラ申シマスレバ、聊カ時期ヲ失シタカノ感ガアルノデアリマス、其ノ他國內ニ出來マス所ノ各種ノ肥料モ、豫期ノ製造ヲ見ルコトハ出來マセヌ、配給上洵ニ多大ナル支障ヲ來シテ居ルノデアリマス、併シナガラ如何ナル難局ニ直面シテモ、此ノ難局ヲ打開致シマシテ、吾々ハ農業生產力ノ維持增進ヲ圖ルニ、唯一時的ノ糊塗方策ヲ以テ臨ンデハ絕對ニナラヌト思フノデアリマス、政府ハ速ニ肥料配給割當ノ制度ヲ確立セラレテ、玆ニ卽時斷行セラルルコトガ、肥料問題解決ノ唯一ノ方法ナリト信ズルノデアリマス（拍手）農業生產資材ノ農器具ノ供給ヲ確保致シマシテ、其ノ配給ノ適正ヲ期シマスコトハ、刻下最モ必要ナルコトデアリマス、然ルニ農器具ノ供給不足ト價格ノ騰貴トハ、生產力ノ維持ニ多大ナル不安ヲ生ジテ居ルノ現狀デアリマス、政府ハ速ニ農業經營ニ必要ナル所ノ物資ニ付キマシテハ、嚴密ニドレダケガ必要デアルカト云フ、其ノ必要量ヲ調査シテ、是ガ資材ニ付テハ軍需資材ト同樣ニ之ヲ確保スルコトガ、最モ必要ナルコトデアルト信ズルノデアリマス（拍手）是ガ爲ニ原料資材ノ配給統制、機構ノ改善ヲ圖ルコトハ、政府ニ於テ最モ考究セラルベキモノデアルト信ズルノデアリマス、政府ハ米穀ノ生產增進ノ爲ニ、地域的ニ種ノ更新、或ハ溫床ノ設置、病蟲害ノ驅除、是等ノコトニ依リマシテ段當ノ收穫量ノ增加ヲ計畫致シテ居ラレマスルガ、長期對策ト致シマシテハ、土地ノ改良、土地ノ開墾、又土地ノ交換分合等ニ依リマシテ、內地外地ヲ一貫シタル所ノ、米穀ノ根本策ヲ速ニ確立シナケレバナラヌト思フノデアリマス（拍手）

米價ノ公正ヲ期シマス上ニ付キマシテハ、現在ノ如ク最高三十五圓四十錢、最低二十九圓九十錢ト云フガ如キデハ、一石ニ付テ實ニ五圓五十錢ノ開キガアリマシテ、最低値カラ考ヘマスレバ、一割九分ノ範圍ヲ常ニ米ハ上下致シテ居リマス、此ノ一割九分ノ範圍ヲ一箇年ノ間ニ上下致スト云フコトハ、生產者及ビ消費者ニ取リマシテ、餘リ好マシキコトデアルト思ハレナイノデアリマス、今ヤ主要物價ニ對シマシテモ價格ノ公定ガセラレテ居リマス、國民ノ主要食糧タル米ニ對シテモ、其ノ價格ノ公定ヲ爲スコトハ正ニ當然デナケレバナラヌト思フノデアリマス（拍手）米價ヲ公定シ且ツ配給ヲ圓滑ニスルニハ、米ノ專賣ヲ爲スヨリ外ニナイト私ハ信ズルノデアリマス（拍手）本案ハ米ノ販賣ニ付テノ許可制度ガ設ケラレ、或ハ投機思惑ガ抑制セラレ、或ハ配給統制ガ强化セラレテ參ツタノデアリマス、吾々ガ年來希望スル所ノ專賣ニ一步ヲ進メタモノデアルノデアリマシテ、吾々ハ速ニ專賣制度ノ施行セラレンコトヲ希望致ス者デアリマス、本法案ヲ提案セラレマシテ以來、米穀業者ハ自己ノ營業權ヲ侵害セラルルモノナリト致シマシテ、非常ナル不安ニ驅ラレテ居ツタノデアリマス、勿論生產者ガ自己ノ生產シタル所ノ米ヲ、生產者ノ團體ニ依ツテ販賣スルト云フコトハ、是ハ決シテ無理ナコトデハアリマセヌ、當然是ハ認メナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、而シテ又一方米穀商ガ從來生產者ト消費者ノ間ニ立チマシテ、配給機關トシテ社會ノ爲ニ盡シテ來タ其ノ事實モ、之ヲ認メテヤラナケレバナリマセヌ、而モ之ニ依リマシテ生活ヲ維持シ來ツク所ノ者ニ對シマシテ、急激ナル變化ヲ生ジ、生活ヲ脅威サルルヤウナコトガアリマシテハ、是ハ大イニ注意セネバナラヌ問題ダト思ヒマス、農林大臣ハ此ノ點ニ關シマシテ、先刻委員會ニ於キマシテ、中產階級ノ生活安定ヲ主眼トスル根本對策ヲ確立スルノ要アリトシ、之ニ關スル一大調查機關ヲ設置シ、犧牲產業ニ對スル轉業對策及ビ產業組合對中小商業者間ノ相剋摩擦ヲ排除スルコトヲ言明セラレタノデアリマス、私ハ農林大臣ノ此ノ言ヲ信ジマシテ、速ニ調查機關ノ設置ヲ要望スルト共ニ、現內閣ノ標榜スル所ノ國民總親和ノ實ヲ擧ゲ、擧國一致以テ此ノ難局ヲ打開スルノ方途ヲ講ゼラレンコトヲ切望致ス者デアリマス（拍手）以上ノコトヲ申上ゲマシテ、本案ニ對シマシテハ委員長ノ報告ニ贊成ヲ致ス者デアリマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　窪井義道君

〔窪井義道君登壇〕

○窪井義道君　私ハ只今上程ニナリマシタ

米穀配給統制法案ニ付キマシテ、第一議員倶樂部同志ヲ代表致シマシテ、委員長ノ修正案ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、修正ノ理由ニ付キマシテハ、只今三善君ヨリ御述ニナリマシタノデ、私共ハ之ヲ省略致シマス、此ノ機會ニ於キマシテ、極メテ簡單ニ本案ニ贊成ノ理由ヲ述ベ、更ニ政府ニ對シテ數點ノ吾々同志ノ希望意見ヲ述ベタイト存ジマス

本案ニ贊成致シマスル第一點ハ、本案ノ目標ガ米穀配給上强力ナル統制ノ命令權ヲ持ツテ居ル點デアリマス、今日マデ米價其ノ他米穀ノ配給ニ付キマシテ、各種ノ法律案ガ本議會ニ於テ審議致サレマシテ出來上ツタノデアリマスガ、戰爭ガ起リマシテ以來、是等ノ法律ノミヲ以テ致シマシテハ、米穀ノ配給及ビ價格ニ對シテ萬全ヲ期スルコトガ出來ナイ、就テハ萬一戰爭最中ニ當リマシテ、一朝米穀ノ市場ニ急激ナル變動ガ參リマシタ場合、申スマデモナク凶作或ハ米ノ不足ト云フヤウナコトガ起リマシタ場合ニ、其ノ配給ノ統制ノ圓滑ヲ期スル爲ニハ、ドウシテモ政府ガ强力ナル力ヲ以テ統制スルニアラズンバ、本當ノ國民ノ生活ノ安定ヲ期スルコトハ出來ナイノデアリマス、此ノ意味ニ於テ本法ガ寧ロ非常立法ト申シマセウカ、强力ナル統制力ヲ有シテ居リマス點ニ於テ、私共ハ贊意ヲ表スル者デアリマス、而シテ此ノ米穀ノ配給法ト相竝ビマシテ、今日戰爭シテ居ル最中ニ、食糧政策ノ上ニ於テ、米穀ガ一方ニ偏在スルト云フコトニ對シテ、此ノ法案ノ第四條ノ發動ヲ見ル時ニ當ツテハ、食糧ノ普遍性、米ノ普遍性ト云フコトヲ實現スル上ニ於テ、非常ナ效果ガアルト存ズル故デアリマス、本案ハ一旦飢饉ノ場合ニ賣惜ミ其ノ他ノ貯藏ニ依リ米ガ偏在スルト云フコトガ非常ナ危險デアルト云フコトニ對スル、大キナル救濟的ナ法案デアルノデアリマス

第二點ハ、申スマデモナク清算取引ヲ廢シマシテ、正米取引本位ニシタ點デアリマス、是ハ私ガ申スマデモナク、大臣ノ提案ノ說明ニモ十分述ベラレテ居ツテ、國民ノ主食タル米ヲ投機ノ具ニ供スルト云フコトニ關シマシテハ、思想的ニ見マシテモ、亦價格ノ適正、配給ノ圓滑ノ上カラ見マシテモ、從來ノ方法ニ依ツテハ出來ナイト云フ點ヲ、政府ハ斷然タル處理ヲ執ツテ之ヲ實行シタト云フ點ニ付テ、吾々ハ贊意ヲ表スル者デアリマス、併シナガラ私ハ政府ガ是ダケノ決意ヲ以テ取引所ヲ廢メテ、此ノ法案ヲ出サレタ以上ハ、更ニ一步ヲ進メテ延取引其ノ他ニ付テモ、今少シ此ノ精神ヲ徹底サレタナラバ、更ニ本案ト云フモノガ本當ノ書龍點睛ヲ見タモノト思ウテ、甚ダ遺憾ニ思ツテ居ル點デアリマス

第三點ハ、今日マデ此ノ米穀ノ取扱其ノ他ガ自由放任ニ任サレテ居リマシテ、米穀市場ガ各地ニ散在シテ居リマス、此ノ分散シテ居ル所ノ米穀ノ取引機關ニ對シマシテ、政府ハ之ヲ單一化シテ、一本ノ日本米穀株式會社ト云フモノヲ以テ、有ユル米穀業者ニハ許可制度ト致シ、又市場員ニ對シテハ政府ハ相當ナ命令權ヲ持ツテ居リマシテ、此ノ米穀ノ取扱ニ對シマシテ、又取引ニ對シマシテ、自由放任ニ任サレテ居リマシタモノヲ、政府ハ初メテ此ノ法律ニ依ツテ、單一化シテ統一セラレタト云フ點ニ對シテ、私共ハ贊意ヲ表スル者デアリマス、是ハ非常ナ大キナ問題デアリマシテ、其ノ萬一ノ場合ニ當リマシテ、各地ニ分散致シテ居リマスル所ノ市場、各地ノ人々ガ經營致シテ居リマスル市場トカ、或ハ其ノ他ノ取引所ト云フヤウナモノガ存在シマスルト、ソレノ統一ト云フコトハ非常ニ困難デアルモノヲ、一ノ米穀會社ヲ作リマシテ、ソレニ監督セシメ、ソレニ市場ヲ經營セシメルト云フコトハ、此ノ點ニ對スル多クノ害與ヲスルモノダト思ツテ贊成シテ居ル次第デアリマス

第四點ハ、本議場ニ於キマシテモ審議サレマシタ臺灣ニ於ケル米穀ノ管理案、又最近朝鮮ニ於テ生レントシマスル所ノ米穀配給統制案、及ビ本日上程サレテ居リマスル所ノ此ノ米穀配給統制法、此ノ三者ガ互ニ相關聯致シマシテ、因ナリ果トナツテ、是ガ完全ナル一ツノ政府ノ意思ノ下ニ連繫サレマスルコトニ依リマシテ、初メテ日本ノ米穀ニ對スル配給ノ對策ガ立テラレルト云フ意味ニ於キマシテ、私ハ日本ノ米穀國策ノ體制ヲ整ヘタト云フ意味ニ於テ本案ニ贊成スル者デアリマス、以上ノ如キ諸點ガ吾々ガ本案ニ贊成致シマスル大體ノ理由デアリマスガ、私ハ此ノ法案ノミヲ以テ致シマシテハ、我國ノ米穀政策ヲ解決スルコトハ出來ナイト存ズルノデアリマス、ソレハ先程三善君ガ述ベラレマシタヤウニ、米穀ノ政策ハ、生產、配給、價格、此ノ三ツノモノガ三位一體トナツテ妙用ヲ發揮スル所ニ、米穀政策ノ運用ガ存スルノデゴザイマシテ、政府ガ此ノ戰爭ニ當リマシテ、私共ニ示サレタル所ノ增產計畫、又ハ米穀生產計畫ト云フモノヲ拜聽致シマスルト、政府ハ此ノ事變下ニ於テ樂觀シテ居ルノデハナイカト云フ印象ヲ、强ク委員會其ノ他ノ質問ニ依ツテ受ケタノデアリマス、ソレハ先程三善君ガ述ベラレタル如ク、戰爭ニ因ツテ農村ノ勞働力ノ減少ヲ見ルコトガ、私ハ詳シイ數字ハ存ジマセヌガ、恐ラク百万、百五十万人ニ及ンデ居ルト思フノデアリマス、此ノ百數十万ノ人間ガ農家カラ離レテ、農作物ノ生產ニ從事スルコトガ出來ナイト云フ大キナル事實、及ビ先程申サレマシタ肥料其ノ他ノ農村資材ガ缺乏シテ居ルト云フ、此ノ二ツノ點ニ鑑ミマシテ、寧ロ米作ニ對シテハ減收ヲ見ハシナイカト吾々ハ危險ヲ感ズル者デアリマス、然ルニ拘ラズ、政府ハ四百万石ノ增收、及ビ外地ニ於テ約二百万石ノ增收ヲ計算致サレマシテ、サウシテ外地ノ朝鮮臺灣カラ約一千五百万石ヲ移入ヲ致サレマシテ、其ノ結果增產ト照シ合セテ、本年度ハ約九百二十万石ノ米ノ持越ヲ見ルヤウナ計算ヲ立テテ居ラレマスガ、私ハ寧ロ此ノ計畫ハ危險デハナイカト思フ、私共ハ戰爭ニ當リマシテ、敢テ悲觀ヲスル者デハアリマセヌガ、樂觀ハ禁物デアリマス、今マデノ戰爭ノ例ヲ見マシテモ、歷史ハ戰爭ト食糧ト云フコトニ對シテ尊イ敎訓ヲ吾々ニ與ヘテ居ルノデアリマス、萬一戰時下ニ於テ米ノ不足ヲ來シ、オ互ガ切符ヲ以テ米ヲ買取ルヤウナ狀態ニナルコトヲ考ヘテ見マスルト、私ハ我國ノ米穀政策ノ上ニ於テ、朝鮮、臺灣ヲ考ヘルト同時ニ、滿洲ヲ考ヘナケレバナラヌデヤナイカ、卽チ米ノ生產ノ地域ヲ今少シ擴大致シマシテ、滿洲ニマデ今日移民計畫ヲシテ居ラレル所ノ拓務省ハ、百万ノ移民ヲ爲サラウトスルニ當ツテ、所謂米ノ生產ニ對シテ今少シ注意ヲ拂ハレ、所謂米ノ生產ヲ奬勵サレル所ノ屯田兵ノ制度ヲ滿洲ニ確立セラレタナラバ、所謂米、食糧ト云フモノニ對シテ、日本人ガ——吾々內地ノ人ガ非常ニ米ニ對スル彈力性ヲ與ヘル、米ノ政策ノ上ニ於テ彈力性ヲ與ヘテ、生產地域ガ非常ニ廣クナルト云フコトハ、我國ノ米穀政策上ニ於ケル所ノ非常ナル力ヲ添ヘルノデアルト私ハ確信スル者デアリマス（拍手）政府ハ此ノ點ニ鑑ミテ、滿洲ニ於ケル所ノ米穀ノ對策ニ對シテ、所謂朝鮮、臺灣、內地及ビ滿洲ヲ一貫致シタル所ノ政策ヲ確立セラレンコトヲ希望致スノデアリマス

尙ホ本案ニ對シマシテハ、本案ガ玆ニ上程サレテ居リマスル條文以外ニ、勅令又ハ委任命令ニ依ル箇條ガ非常ニ多イノデアリマス、此ノ勅令、委任命令ニ依ル場合ハ、

政府ノ自由裁量ニ依ツテ米穀配給、價格其ノ他ノ點ガ決セラレルコトヲ考ヘマシテ、政府ハ本法案ヲ實施セラレントスル場合ニ當ツテハ、此ノ委任命令、勅令ニ對シテハ深甚ノ注意ヲ拂ツテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレハ本案ヲ通覽致シテ見マスルト、本法ニ於ケル所ノ委任命令又ハ勅令ト云フモノガ十數點ニ亙ツテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ勅令及ビ委任命令ガ行ハルル上ニ於テ、立法ノ技術ノ上カラ見マシテモ甚ダ遺憾ノ點ガ多イ、私ハ此ノ際ニ當リマシテ、政府ガ本案ヲ實施セラルルニ對シテ、數點ノ希望意見ヲ述ベテ政府ノ注意ヲ喚起致シタイト存ズルノデアリマス、希望意見ニ付キマシテハ、只今親切丁寧ナル委員長カラ、此ノ壇ニ於テ述ベテ戴キマシタノデ、私ハ之ヲ繰返シテ申上ゲル煩瑣ヲ避ケタイト存ズルノデアリマスガ、唯一點政府ハ本案實施ニ當リテハ、相剋對立ヲ生ゼザルヤウ注意セラレタイト云フ意見ガ落チ居リマシタノデ、此ノ點ヲ附加致シマシテ、私共ハ委員長ノ御報告ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　佐竹晴記君

〔佐竹晴記君登壇〕

○佐竹晴記君　私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ、只今ノ委員長報告ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、併シナガラ吾々ハ本案ニ付テハ不十分、不徹底ナ點ガ多々アルト考ヘマスノデ、只今ノ委員長報告ノ通リ、吾々ヲ代表シテ杉山氏ヨリ委員會ニ於テ申上ゲマシタ希望條項ヲ附シテ贊成ヲ致シタイト存ズル次第デアリマス

事變以來有ユル物資ニ對スル禁止制限ガ强行サレテ參リマシタニ拘ラズ、主要食料品タル米ノ消費ニ付テハ、何等ノ制限ガ加ヘラレズ、又何等ノ不安ヲ感ズルコトナクシテ玆ニ至リマシタコトハ、我ガ國土ノ恩惠デアリ、又農漁村ノ大ナル努力ノ賜デゴザイマシテ、洵ニ心强ク存ズル次第デアリマス、サレド暴風、旱天、冷害等ノ爲ニ、何時生產ノ激減ヲ來スカモ分リマセヌ、ノミナラズ戰時下勞力ノ減退、耕地減少等、其ノ他ノ事情ニ依リマシテ食糧缺乏ノ時期ガ來ナイトハ誰ガ斷言スルコトガ出來マセウ、而シテ本法案ハ是等米穀事情ノ急激ナル變動ニ際會致シマシタ時ニ、國民生活ニ脅威ヲ與フルコトノナイヤウニ、特ニ今日ノ時局ニ鑑ミマシテ、長期持久ノ事變下ニ於ケル米穀ノ生產及ビ供給ノ確保、竝ニ價格ノ適正ヲ期センガ爲ニ提案サレタモノデアリマスルコトハ、農林大臣御說明ノ通リデアリマス、然ルニ此ノ趣旨ヨリ致シマスナラバ、本案ハ洵ニ不徹底デアルト言ハザルヲ得ナイノデアリマス

先ヅ第一ニ淸算取引ヲ禁止シ、實米取引ヲ主眼トシ、投機ノ手段ヨリ來リマス米價ノ動搖、暴騰ノ危險ヲ防止致シマシタコトハ、洵ニ正當デアルト考ヘマス、併シ尙ホ限定セラレテ居ルトハ言ヒナガラ、二箇月間ノ延取引ヲ許シ、投機ノ餘地ヲ存セシメマシタコトハ、洵ニ遺憾デアルト存ズル次第デアリマス（拍手）

次デ半官半民ノ會社デアルトハ言ヒナガラ、日本米穀株式會社ト云フ營利會社ヲシテ市場ヲ經營セシムル結果ハ、配當增加ヲ望ミ、勢ヒ延取引ヲ多クスルト共ニ、株式ヲ從來ノ市場取引員、卽チ投機業者タリシ者ニ優先的ニ與ヘマスル結果、是等ノ者ガ重役トナリ、市場ノ經營ガ自然投機性ヲ帶ビ、公益性ヲ滅却スル虞ハ免レマイト私ハ思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ際投機性ヲ全然排除シタ一本建ノ公定價格制ヲ確立致シマシテ、市場ノ經營ハ又國家自ラ之ニ當ルベキモノデアルト思フノデアリマス

更ニ又我國ノ米穀ハ、商品化サレタモノハ全生產額ノ五六%ニ過ギマセヌ、而モ是ガ集荷方法ニ付テハ何等ノ統一制ガゴザイマセヌ、一朝凶作其ノ他米穀ノ需給圓滑ヲ缺キマシタ時、或ハ賣惜ミヲシ、或ハ賣隱シヲスルコトハ當然デアツテ、之ニ處スル集荷對策ガ樹立サレテ居ナイト云フコトハ、甚ダ弱點ト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、仍テ全生產米ニ付テ營利性ヲ持タザル農會ナリ、或ハ市町村ナリ、或ハ產業組合ナリヲシテ、此ノ村ニハドレダケノ米ガアル、又何處ニ何程殘ツテ居ルカト云フコトヲ常ニ調査セシメマシテ、何時デモ市場ヲ通ジテ其ノ配給ガ出來ルヤウナ集荷組織ガ、最モ必要デアルト私共ハ思フノデアリマス、是ガ爲ニハ先程既ニ前論者ヨリ申上ゲマシタ通リ、米穀ノ專賣制ヲ實施スルノ外ハナイト私共ハ思フノデアリマス

次イデ政府ノ米穀政策ハ、常ニ全生產額ノ五六%ノ商品化サレタ米穀ノミニ付テ、之ヲ對象ト致シテ考ヘテ居リマスガ、此ノ從來ノ方針ヲ一擲シ、全生產米ニ對スル消費節約ノ運動ヲ積極化スベキモノデアルト私ハ思フノデアリマス（拍手）日露戰爭前後ニ於ケル一人當リノ消費量ハ、明治三十六年及ビ三十九年ニハ一人一箇年ニ付九斗內外デアツタノデアリマスガ、戰爭中ノ三十七八年ニハ一石一斗カラ一石二斗位ヲ消費致シテ居リマシテ、其ノ數量ノ激增致シテ居ルコトハ諸君御承知ノ通リデアリマス、此ノ狀態デアリマスカラ、此ノ際消費節約ヲ以テ此ノ長期聖戰時下ニ備フベキデアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、軍隊ガ七分搗米ヲ採用スルコトニ依リマシテ、實ニ三百万石ヲ節約シ、其ノ價格實ニ一億圓ヲ突破致シテ居リマス、剩ヘ脚氣病ヲ克服致シマシタ如キ、米穀日本ノ一大誇リデアルニモ拘ラズ、此ノ世界的發見ガ國民ノ間ニ十分理解サレテ居ナイト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思フ、吾々ハ是等ヲ考慮シ、一擧兩得ノ消費節約運動ニ乘出スベキモノデアルト考ヘル次第デアリマス

次ニ本法施行後生ズベキ取引所員其ノ他犧牲者ニ對シテハ、特ニ適當ノ對策ヲ講ズベキデアルコトハ申スマデモアリマセヌ

次イデ米穀政策ノ根本ハ、何ト申シマシテモ增產計畫ノ徹底デアリマス、增產計畫ノ徹底ノ爲ニハ、農產用器具機械竝ニ必要ナル鐵、「ゴム」、「ガソリン」ト云フヤウナモノニ對シマシテ、政府當局ハ軍需品ト同樣重要性ヲ確認致シマシテ、其ノ需給ノ圓滑ヲ期スベキデアルト私共ハ考ヘル（拍手）又肥料ノ配給統制ノ範圍ヲ擴大致シマシテ、有機肥料ニ付テマデモヲ擴大シ、價格ノ暴騰ヲ抑ヘ、且ツ其ノ配給割當ヲ貧農層ニマデ敷衍スルノ方策ヲ講ズベキモノデアルト信ズル者デアリマス（拍手）有機肥料ハ重要肥料ノ地方割當制實施前ノ十一月現在ニ比シマシテ、最近ハ何レモ二〇%乃至三〇%ノ騰貴ヲ示シテ居リマス、ソレヲ更ニ昨年ノ同期ニ比シマスルナラバ、四〇%ノ騰貴デアリマス、有機質肥料ノ値上リハ、ソレダケ農家ノ損失ニナツタノデアルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、仍テ化學肥料ト相竝ンデ、有機質肥料ノ公正ナル標準價格ヲ決定シ、豐富低廉ナル配給統制ヲ斷行スベキモノデアルト考ヘル、更ニ事變以來農山村ノ勞働力ノ減退致シテ居リマスコトハ、前論者ヨリモ既ニ申上ゲテ居リマシタガ、新潟縣ニ於キマシテハ、農村カラ五万八千人ノ男女ガ工場ヘ吸收サレ、埼玉縣デハ昨年ノ十二月、全縣下ノ農業勞働移動調査ニ依リマシテ、四万六千百五人ガ動イテ居リマ

シテ、農家戸數ノ一割三分ガ農業ヲ離レテ居リマス、漸次農業經營ハ婦人ト老人ニ任サレヤウトスル狀態デアリマシテ、勢ヒ經營能率ヲ低下致シテ居リマスルコトハ、是亦已ムヲ得ナイ所デアリマス、是ニ於テ其ノ勞働力ノ補給調整ニ萬遺憾ナキヲ期スルト同時ニ、農業ノ協同化、機械化、電化ヲ促進シマシテ、單位勞働生産性ノ向上ニ資スベキモノデアルト考ヘルノデアリマス（拍手）最後ニ低價格ニ依ル增産ヲ必要ト致シマスル時ニ、農家必需品ニ對スル鉄狀價格差ガ、事議以來最近マデニ其ノ約四倍ニ擴大致シテ、益〻農家經濟ヲ壓迫致シテ居リマスルコトハ、洵ニ憂フベキ事柄デアルト思フノデアリマス、政府ハ物價統制策ヲ一層强化致シマシテ、農家經濟ノ安定ヲ圖ルコトガ極メテ緊要デアルト思フ（拍手）ノミナラズ國民生活ノ安定ト國際貸借ノ改善ノ見地ヨリ致シマシテモ、農産品ノ生産費切下ゲナケレバナラヌト思フ、由テ以テ生産擴充ヲ期シナケレバナラヌト、斯樣ニ思フノデアリマス、是ガ爲ニハ昂騰傾向ニアリマス所ノ地價、小作料ノ合理的低減ヲ圖リ、他方耕地ノ交換分合ヲ斷行スベキモノデアルト思フ、群馬縣農會ノ調査ニ依リマスレバ、耕地ガ分散シテ居リマスコトニ依ツテ、反當リ畑三十一人、田二十七人ヲ要シテ居リマス田畑ニ於テ、耕地ノ統一ヲ圖リマシタ結果、畑ニ付テハ五人、田ニ付テハ六人、即チ四分ノ一ノ勞力ヲ以テ同一ノ能力ヲ發揮シテ居リマスコトガ實證サレテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ狀態デゴザイマスノデ、其ノ交換分合ヲ實現致シマスト同時ニ、土地ノ公益的國家管理ヲ斷行スベキモノデアルト、斯樣ニ思フノデアリマス（拍手）吾々ハ此ノ希望ヲ附シテ、本法案ノ通過ノ上ハ最善ヲ盡シテ、萬遺憾ナク本法ノ精神ヲ發揮セラレマスヤウニ熱望致シマシテ、贊成ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　小野謙一君

〔小野謙一君登壇〕

○小野謙一君　私ハ東方會ヲ代表致シマシテ、只今議題ト相成ツテ居リマスル米穀配給統制法案ニ對シマシテ、委員長ノ報告ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、申上ゲルマデモナク本法案ハ我國食糧政策ノ根幹トモ申スベキ法案デアリマシテ、唯法案自體ガ日本國民ノ主要食糧タル米穀ノ配給ヲ圓滑ニスルノミナラズ、一方ニ於テハ生産者タル農民ノ農業經營ヲ安定化シ、他方ニ於テハ消費大衆ノ食糧不安ヲ一掃スルト云フ、理想的目的ヲ持ツ點ヲ重大視シナケレバナリマセヌ

今ヤ事變ハ長期持久ノ時期ニ入リツツアリマス、此ノ秋ニ當リ政府ハ戰時米穀政策ヲ確立シ、米穀事情ノ急激ナル變動ニ備ヘ、以テ絶對ニ國民ノ生活ヲ脅威セシムル如キコトナキヲ期スル爲、米穀生産及ビ配給ヲ確保シ、且ツ價格ノ適正ヲ期スルガ爲ニ本案ヲ提出シタト申サレテ居リマス、而シテ政府ハ此ノ目的ヲ貫徹センガ爲ニ、取引機構ヲ改革シ、從來投機取引ニ逸脫シタル弊害ヲ抑制シテ、實需ニ基ク正米取引ヲ原則トスル機構ヲ確立シ、併セテ米穀取扱業者ノ許可制ヲ布キ、米穀配給統制ノ體制ヲ整ヘテ、食糧問題ノ解決ニ當ラントスルノ決意ヲ示シテ居ルノデアリマスガ、而モ正米取引ヲ原則トシナガラ、東京、大阪ノ如キ特定ノ市場ニハ、未著物及ビ延取引ヲ許シ、其ノ一部ニ尙ホ差金決濟ヲ認ムルコトハ、政府自ラ投機行爲ヲ承認スルモノデアッテ、本法ノ精神ヲ破壞スルノ虞ナシトハ言ハレナイノデアリマス、私ノ調査致シマシタル所ニ依リマスルト、內地生産米中其ノ販賣米ハ三千五百万石、內縣外移出米ハ千五百万石デアリ、其ノ內東京、大阪、名古屋、福岡ノ如キ主要都市ニ集荷スル數量ハ、若干ノ朝鮮米ヲ入レマシテ一千二三百万石デアリマス、假リニ全國市場ノ取扱數量ヲ移動米ノ五割ト見マスレバ、約千七百五十万石デアリマス、然ルニ政府ノ提示シタル會社ノ米穀取扱收入ヨリ推算致シマスナラバ、正米取引高ハ一千四百六十万石、未著物ハ一千百四十万石、延取引ハ一千二百六十万石トナリマシテ、未著物ト延取引トヲ合算スル時ハ、實ニ二千四百万石ニ上リ、正米取引高ニ比較シテ稍〻其ノ二倍ニ近カラントシテ居ルノデアリマス、又三者ヲ合計スレバ三千八百万石トナリ、市場ヲ通ジテ流レル米ノ推定數量ニ比較シテ、優ニ二千數百万石ノ超過トナルノデアリマス、更ニ從來東京、大阪、名古屋、福岡等ノ主要都市ニ集荷シタル所ノ一千二三百万石ノ米ニ比較シマスレバ、殆ド其ノ三倍ニ近カラントスルノデアリマス、斯ル多數ノ未著物又ハ延取引トシテノ米ガ、東京、大阪ノ如キ特定市場ニ於テ取引サレル實情デアリマスカラ、何人モ投機取引ノ公行ヲ否定シ得ナイノデアリマス、私ハ本法案ノ一大眼目トシテ、政府ガ投機抑壓ノ爲ニ出シマシタ法律案ガ、投機ノ具ニ供セラルル虞アリマスルコトニ多大ノ遺憾ヲ感ズル者デアリマス（拍手）政府ハ生産確保ノ應急對策ト致シマシテ、農林水產食糧ノ生產ヲ增進奬勵スルガ爲ニ、特ニ此ノ際一千五百万圓餘ヲ據出致シマシテ、生產ノ第一線ニ活躍スル部落團體ヲ助成激勵スルノ各種ノ施設ヲ行ハントシツヽアルノデアリマス、私ハ固ヨリ此ノ種政府ノ意圖ヲ諒トスル者デゴザイマスガ、折角ノ政府ノ增產計畫モ、先刻此ノ壇上ニ於テ申サレマシタヤウニ、價格ノ抑制政策トノ點ニ一大矛盾ヲ感ズルノヲ遺憾ト思フノデアリマス、政府ハ宜シク是ガ解決ニ向ツテ一段ノ努力ヲ要スルモノアリト信ジマス、事變下ニ於ケル統制經濟政策トシテノ低物價ハ、極メテ有意義ナルコトハ言フマデモゴザイマセヌ、特ニ低物價政策ヲ國民ノ主要食糧タル米價ニ先ヅ實施セントスル政府ノ意圖モ、亦之ヲ諒承セザルヲ得ナイノデアリマスガ、農林水產物ノ增產ヲ確保セントスル秋ニ於キマシテ、是等ノ生產ニノミ獨リ低物價主義ヲ强制セントスルノハ、吾等ノ斷ジテ承服シ能ハザル所デアリマス、吾等ハ敢テ低物價政策ニ反對スル者デハアリマセヌガ、全國民ノ協力ニ依リテ此ノ時艱ヲ克服シ、東亞新態勢ヲ確立スルノ秋ニ際シマシテハ、勿論均等ナル國民ノ犧牲ヲ必要トスルモノデアリマス、隨テ徹底的低物價政策トシテ、農山水產生產力ノ源泉タル肥料、農器具、漁具、油、其ノ他生產資材及ビ農山漁村生活ノ必要品タル工業生產品ニ對シテ、配給確保ト所謂適正ナル價格、即チ低物價政策ノ徹底ヲ要求スルモノデアリマス（拍手）吾等ハ此ノ際應急的對策ト併セマシテ、更ニ生產確保ノ根本的政策タル土地問題ノ解決ニ對スル、其ノ最モ合理的ナル全耕地ノ自作農化ニ向ツテ、政府ノ一大決意ヲ促サントスルモノデアリマス、更ニ增產ト同時ニ吾等ノ屢〻主張スル所ノ消費ノ合理化ニ對シテモ速ニ國策ヲ樹立シテ、其ノ實踐ヲ要望シテ已ミマセヌ、本案ハ農林商工兩省ノ共管デアリマス、隨テ其ノ實施ニ當リマシテハ、特ニ注意ヲ要スルモノハ、米穀生產團體ト米穀取扱業者トノ活動分野ヲ如何ニシテ調整スベキカノ點ニアリマス、政府ハ委員諸君トノ質疑應答ニ於テ、其ノ共存共榮ヲ高唱致シマシタガ、斯ノ如キ重大問題ハ決シテ一片ノ口頭禪ヲ以テ、單純

ニ容易ニ解決サルルモノデハナイト信ズルノデアリマス、幸ヒ此ノ間ノ問題ヲ全面的ニ調整シ、解決シ、以テ全國民ノ總親和ト萬民輔翼ノ實現トヲ期スルガ爲ニ、政府ハ平沼首相ヲ首班トスル一大調査機關設置ノ計畫ヲ明示致サレマシタノデ、本案ニ對シ尙ホ幾多ノ不滿ヲ藏スルモノデアリマスガ、暫ク政府ノ言明ニ信賴致シマシテ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　是ニテ討論ハ終局致シマシタ、採決致シマス、本案ノ委員長報告ニ係ル修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

（總員起立）

○議長（小山松壽君）　起立總員

（拍手起ル）

○議長（小山松壽君）　仍テ委員長ノ報告ニ係ル修正ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ――其ノ他ハ原案ノ通リ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ其ノ他ハ原案ノ通リ決シマシタ（拍手）是ニテ本案ノ第二讀會ハ終了致シマシタ

○服部崎市君　直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

（「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

米穀統制配給法案

第三讀會

○議長（小山松壽君）　別ニ御發議モアリマセヌ、本案ハ第二讀會ノ議決ノ通リ確定致シマシタ

（拍手起ル）

○服部崎市君　議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、工業組合法中改正法律案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ、工業組合法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス――理事葉梨新五郎君

工業組合法中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一工業組合法中改正法律案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年三月十八日

理事　葉梨新五郎

衆議院議長小山松壽殿

（葉梨新五郎君登壇）

○葉梨新五郎君　只今上程サレマシタ工業組合法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告致シマス

委員會ハ三月十六日、十七日及ビ本日ノ三日ニ亙リ會議ヲ開キマシテ審議ヲ致シマシタ、本法案ノ骨子ト致シマスル所ハ、第一ニ小規模ナルモノ、即チ弱小ナル工業者ノ爲ニ一ツノ小組合制度ヲ創設シマシテ、是等業者ノ營業ノ維持振興ヲ圖ラントスルコトガ第一點デアリマス、第二ハ統制ノ確保ヲ圖ル爲ニ、工業組合法第八條ノ規定ニ於ケル所謂統制命令ノ發令アリタル場合ニ、特ニ必要ガアレバ其ノ組合ノ地區內ニ於テ當該工業ノ新設又ハ設備擴張ニ對シテ、行政官廳ノ許可制度ヲ採リ得ル途ヲ拓クコトガ第二點デアリマス、第三ハ物資ノ配給等ノ事業ヲ行フ工業組合ニ對スル監督指導ノ規定ヲ整備スルコトデアリマシテ、此ノ三點ガ本組合法中改正法律案ノ要點ナノデアリマス

本法案ハ時局ニ鑑ミマシテ最モ重要ナル內容ヲ含ンデ居リマスル爲ニ、各委員ノ質疑ハ最モ熱心且ツ詳細ニ亙ツテ繼續セラレタノデアリマス、質疑ノ主ナルモノハ渡邊玉三郎君、瀧澤七郎君、木村淺七君、鹽川正藏君、原玉重君、中村高一君、長谷長次君、樋口善右衞門君、牧野良三君、中田儀直君、阿部茂夫君等デアリマシテ、詳細ハ速記錄ニ依リ御承知ヲ願ヒマス

本日午後四時十分ニ質疑ヲ終了致シマシテ討論ニ入リマシテ、立憲民政黨ヲ代表致シマシテ卯尾田毅太郎君ハ、本案ノ內容タル工業小組合制度ハ、現行ノ工業組合制度ノ足ラザル所ヲ補ヒ、休業、失業者等ニ對スル對策ニ資スル所アルモノナルコト、及ビ監督規定ハ濫用ニ陷ラザルヤウニ留意スベシトノ旨ヲ述ベテ、贊意ヲ表セラレタノデアリマス、立憲政友會ヲ代表致シマシテ中田儀直君ハ、役員ノ選任ニ關スル規定ニ付テ、政府ハ之ヲ濫用スルノ弊ニ陷ルコトナキヤウ言明セラレタシトノ意見ヲ附シテ、同樣贊意ヲ表セラレタノデアリマス、第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ長谷長次君ハ、監督規定ノ濫用ニ陷ラザルコト、及ビ小組合ニ對スル助成ニ付キ遺憾ナキヲ期セラレタキコトヲ述ベラレ、是亦贊成ヲセラレタノデアリマス、社會大衆黨ヲ代表致シマシテ阿部茂夫君ハ、小組合ニ對スル金融ノ助成、小組合ニ對スル指導助成ノ適正、又物資配給ニ付テノ萬全ノ策ヲ講ゼラレタキ旨等ノ三點ヲ述ベラレテ、本案ニ贊成ヲセラレタノデアリマス、次イデ今井商工政務次官ヨリ發言ノ要求ガアリマシテ、役員ノ選任解任ニ關スル規定ノ運用ニ付テハ、濫用ニ陷ラザルヤウ特ニ留意スベキ旨ヲ政府ヲ代表致シマシテ言明セラレマシタノデアリマス、是ニテ討論ヲ終結致シマシテ、本案ノ處置ヲ諮リマシタ所、採決ノ結果ハ滿場一致可決致シタノデアリマス、此段御報告申上ゲマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君　直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

工業組合法中改正法律案

第二讀會（確定議）

○議長（小山松壽君）　別ニ御發議モアリマ

セヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決確定致シマシタ（拍手）議事日程ハ議了シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時五十二分散會

衆議院議事速記錄第二十四號中

正誤

頁	段	行	誤	正
五三四	二	一	應召	召集

衆議院議事速記錄第二十六號中

正誤

頁	段	行	誤	正
六〇四	四	四	中野君	在上海中野君